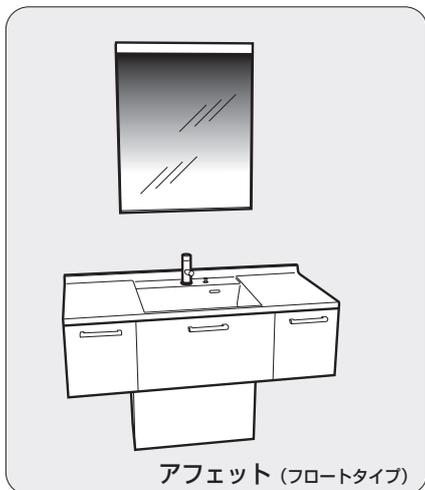
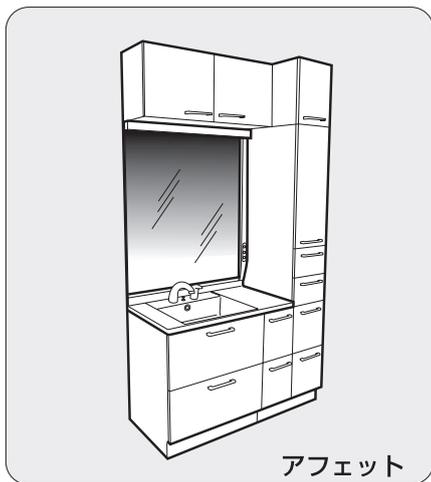


# 取付設置説明書



- このたびはトクラスドレッサーをお取扱いいただきまして、まことにありがとうございます。  
 お客様に満足してお使いいただくために、この「取付設置説明書」をよくお読みいただき正しい取付けをしていただきますようお願いいたします。
- ミラーキャビネットは専用の「取付設置説明書」をお読みください。
- 水栓金具は専用の「施工説明書」をお読みください。
- 「取扱説明書」(保証書付)は、必ず洗面化粧台のボール下ベースキャビネットの底板の上または引出し内に置いて、お客様に渡るようにしてください。

本書は、取付設置完了した後、p30のチェックリストにしたがって点検した後、取扱説明書といっしょにお客様へお渡しください。

トクラスドレッサー  
 内装仕上げ部及び下地部分とも F☆☆☆☆

内装仕上げ部及び下地部分とも

| ホルムアルデヒド発散建築材料 | 発散区分  |
|----------------|-------|
| 化粧 PB          | F☆☆☆☆ |
| 化粧 MDF         | F☆☆☆☆ |
| PB             | F☆☆☆☆ |
| MDF            | F☆☆☆☆ |
| 接着剤            | F☆☆☆☆ |

住宅部品表示ガイドラインによる

物件 ID 洗面ボウル下キャビネットに添付の製番ラベルに記載  
 製造番号 洗面ボウル下キャビネットに添付の製番ラベルに記載

トクラス株式会社

フリーコール ☎ 0120 - 119555

トクラスドレッサー

内装仕上げ部及び下地部分とも

|          |                 |
|----------|-----------------|
| VOC 放散性能 | 4VOC 基準適合(木質建材) |
|----------|-----------------|

住宅部品VOC表示ガイドラインによる

※4VOCとは、トルエン・キシレン・エチルベンゼン・スチレンを示します。

当社製品に使用する材料や接着材などは、JIS・JAS又は国土交通大臣の認定を受けた F☆☆☆☆の材料を使用しています。

取付設置と使用する下地材、接着剤、塗料などについても以下のものをお選びください。

- ・居室に面している材料は F☆☆☆☆のもの
- ・下地材に使用する材料は F☆☆☆☆以上のもの

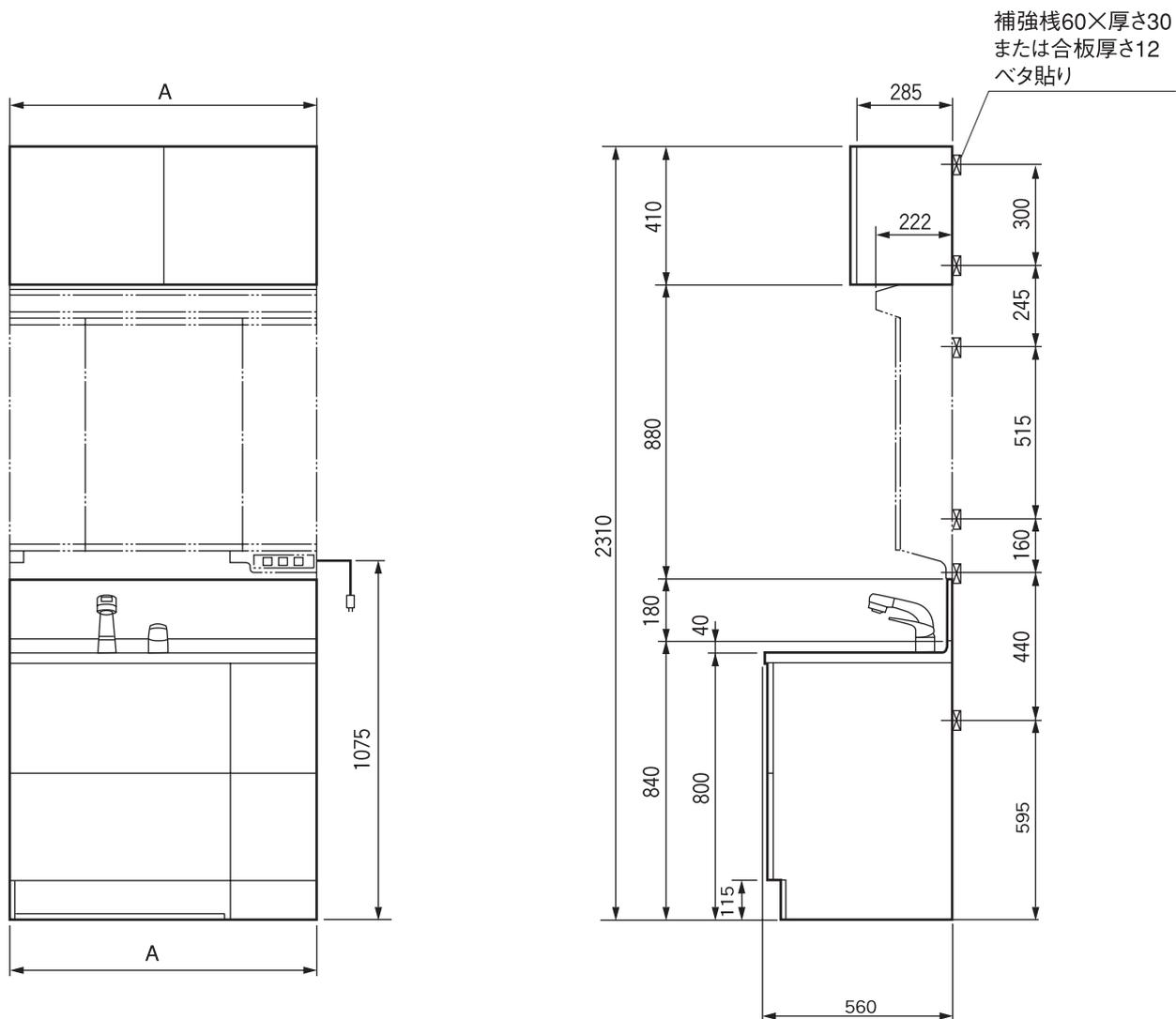
# 取付設置手順

|   | 作業のポイント  | 参照ページ |
|---|--|-------|
| 1. 商品の確認                                    | ● 部材および同梱部品確認  | 11    |
| ↓   |  |       |
| 2. 現場の確認                                    | ● 給水・給湯・排水管の位置確認<br>● 壁補強材の位置確認<br>● 電源コンセントの位置確認<br>● 壁・床の水平・垂直確認および修正                                | 12    |
| ↓   |  |       |
| 3. トールキャビネット・サイドキャビネットの据付け<br>※プランにない場合は飛ばす | ● 水平レベル出し<br>● 壁固定<br>● 棚板をしっかりと納める  | 12    |
| ↓   |  |       |
| 4. ベースキャビネットの加工                             | ● 給水・給湯・排水管の取だし穴加工<br>● オプション機器(足元温風機、タップスイッチ)用加工  | 13    |
| ↓   |  |       |
| 5. ベースキャビネットの据付け                            | ● ベースキャビネットが2台以上の場合は連結する<br>● ベースフィラーの取付<br>● 水平を出し壁に固定する  | 14    |
| ↓   |  |       |
| 6. 水栓の取付け                                   | ● 水栓の「施工説明書」に従う<br>● 水栓が鏡に当たらないように首振り範囲を決める  | 16    |
| ↓   |  |       |
| 7. カウンターの取付け                                | ● アフェットの間口750はベースキャビネット取付け済み<br>● エポックはベースキャビネット取付け済み  | 17    |
| ↓   |  |       |
| 8. ミラーキャビネット・ミラーおよびバニティキャビネットの取付け           | ● ミラーキャビネット・ミラーおよびバニティキャビネット用「取付設置説明書」に従う<br>● 仮止めテープなど不要物の除去<br>● 照明の周波数セットが合っているか確認<br>● しっかりと壁に固定する | 17    |
| ↓   |  |       |
| 9. ウォールキャビネットの取付けと連結                        | ● しっかりと固定する  | 18    |
| ↓   |  |       |
| 10. 止水栓の取付け                                 |  | 19    |
| ↓   |  |       |
| 11. 水栓との接続                                  | ● 水漏れのないように接続する  | 20    |
| ↓   |  |       |
| 12. 排水装置の接続—管工事                             | ● 水漏れのないように接続する  | 21    |
| ↓   |  |       |
| 13. 水受タンクの取付け                               | ● シャワータイプ水栓はホースの収納を確認する  | 22    |
| ↓   |  |       |
| 14. 化粧サイドパネルの取付け(オプション)                     |  | 22    |
| ↓   |  |       |
| 15. カウンター周りのコーキング                           | ● キャビネットの裏に水が入り込まないか確認   | 23    |
| ↓   |  |       |
| 16. 扉・引出しの調整                                | ● アフェット・fは配管カバーの取付け  | 23    |
| ↓   |  |       |
| 17. 点検・清掃                                   | ● キャビネット・鏡・扉・丁番にガタはないか確認<br>● 水漏れはないか確認  | 29    |
| ↓   |  |       |
| 18. 養生                                      |  | 29    |
| ↓   |  |       |
| 19. チェックリスト                                 | ● 各部の総点検   | 30    |

# 寸法図

## 1. アフェット

### 1-1 観音扉・大引出しタイプ

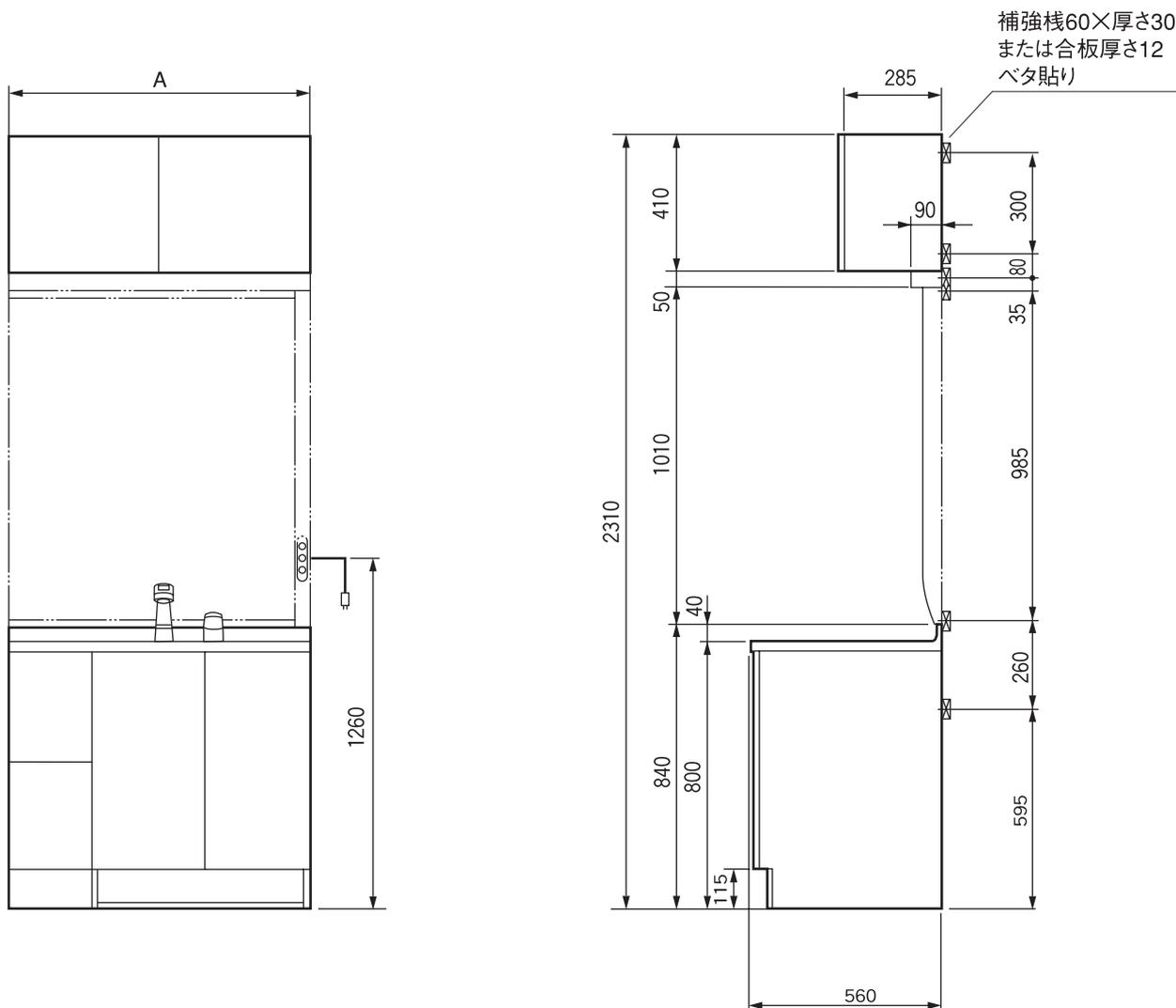


|      |   |
|------|---|
| サイズ  |   |
| A    |   |
| 750  |   |
| 900  | L |
|      | R |
| 1200 |   |

# 寸法図

## 1. アフェット

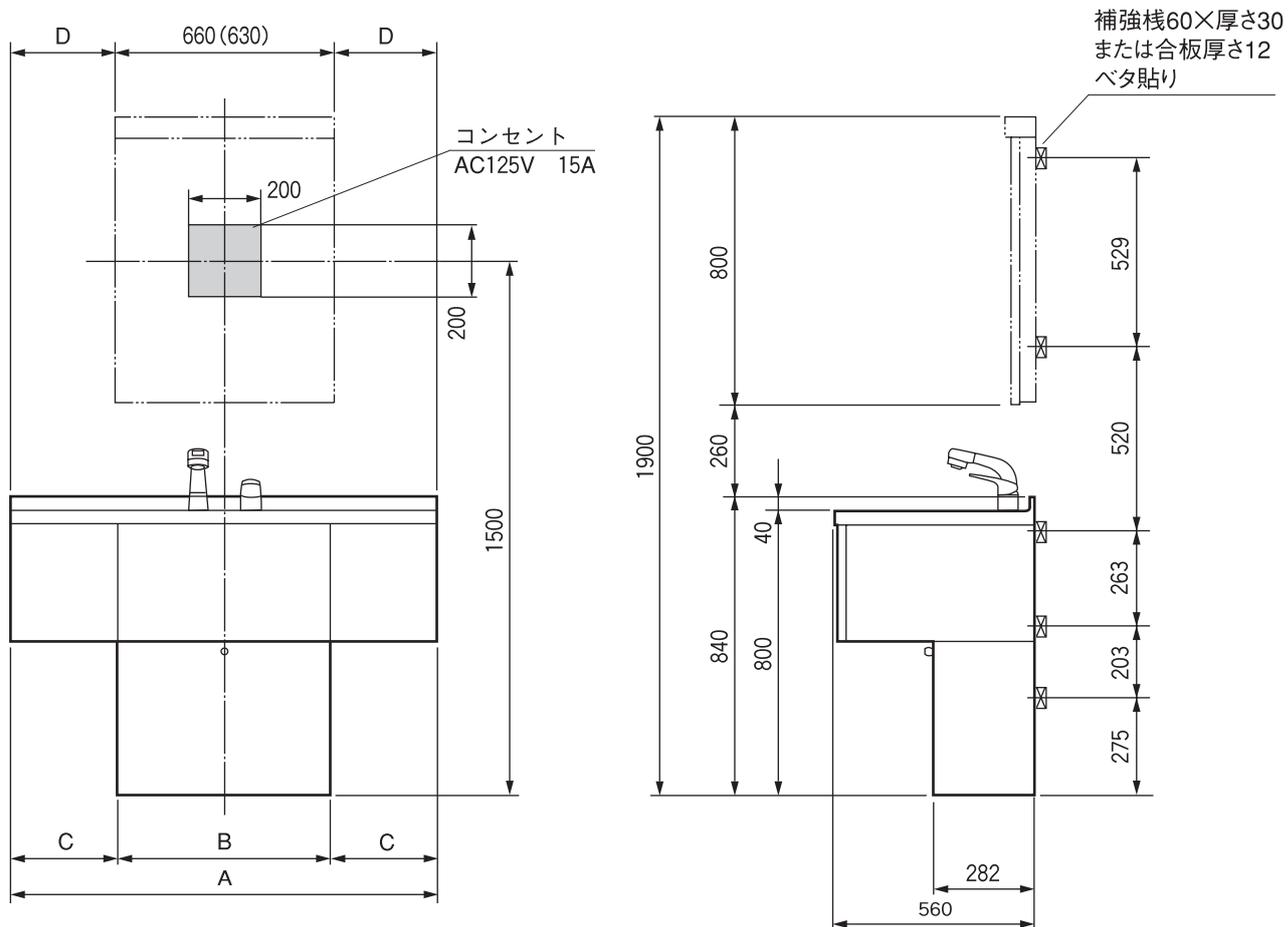
### 1-2 引出し+扉タイプ



|      |   |
|------|---|
| サイズ  |   |
| A    |   |
| 750  |   |
| 900  | L |
|      | R |
| 1200 |   |

# 寸法図

## 2. アフェット(フロートタイプ)



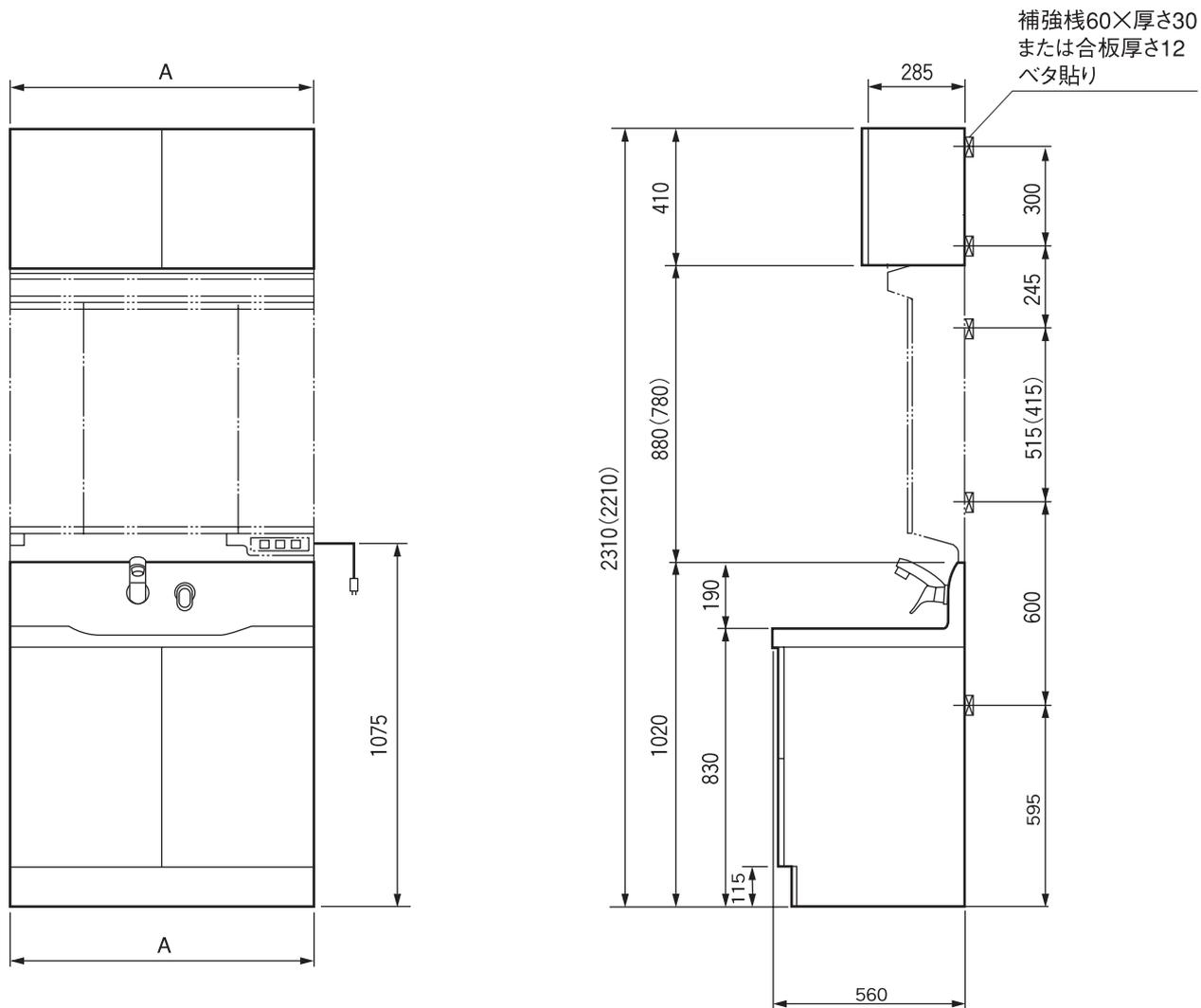
※( )内は蛍光灯の場合

| サイズ  |   | B   | C   | D        |
|------|---|-----|-----|----------|
| A    |   |     |     |          |
| 900  | L | 900 | 0   | 120(135) |
|      | R | 900 | 0   | 120(135) |
| 1200 |   | 600 | 300 | 270(285) |

# 寸法図

## 3. エポック (EJ)

### 3-1 観音扉・大引出しタイプ



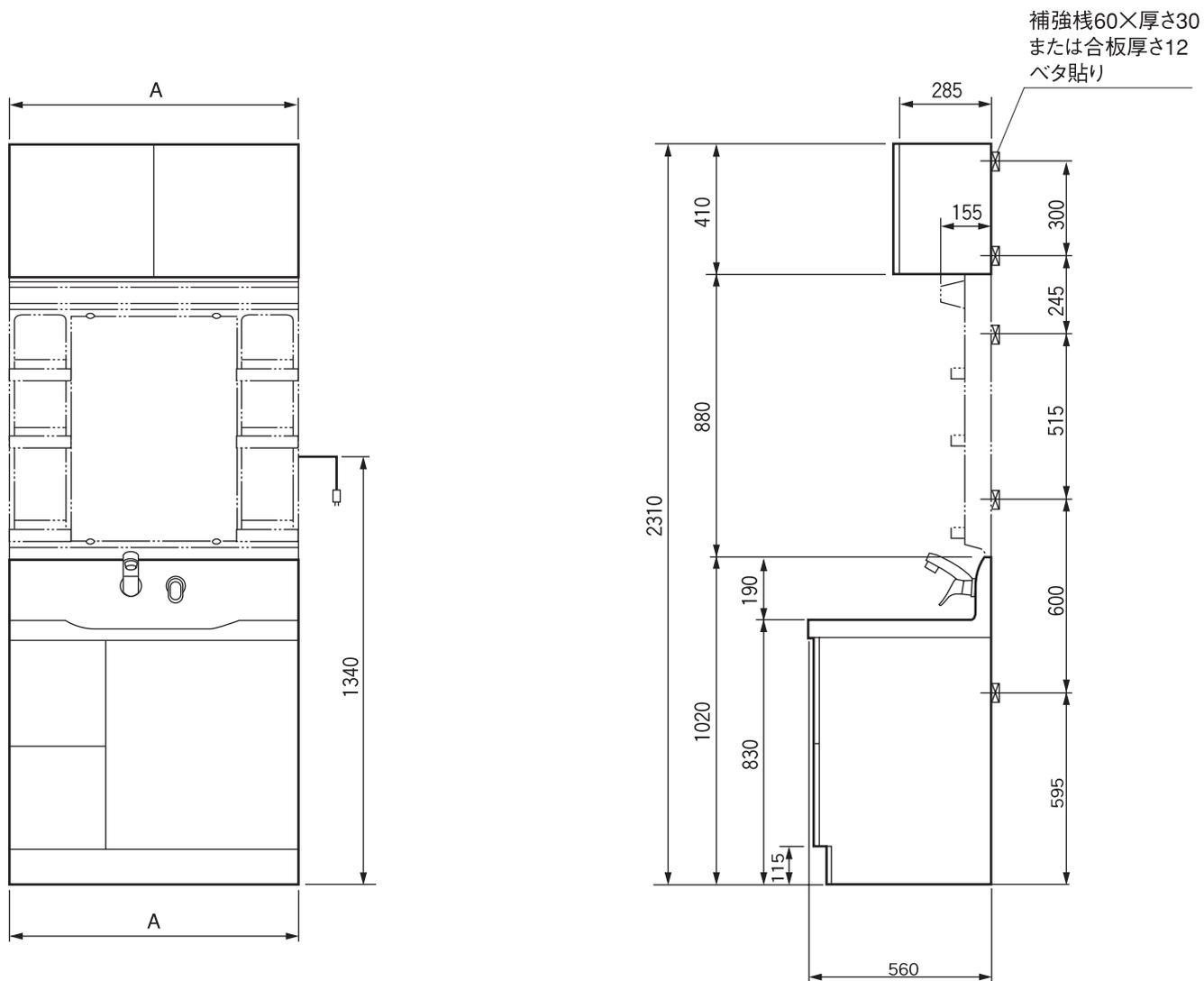
|     |
|-----|
| サイズ |
| A   |
| 750 |
| 900 |

●高さ寸法の( )は、低天井用タイプの3面鏡の寸法を示しています。

# 寸法図

## 3. エポック

### 3-2 引出し+扉タイプ

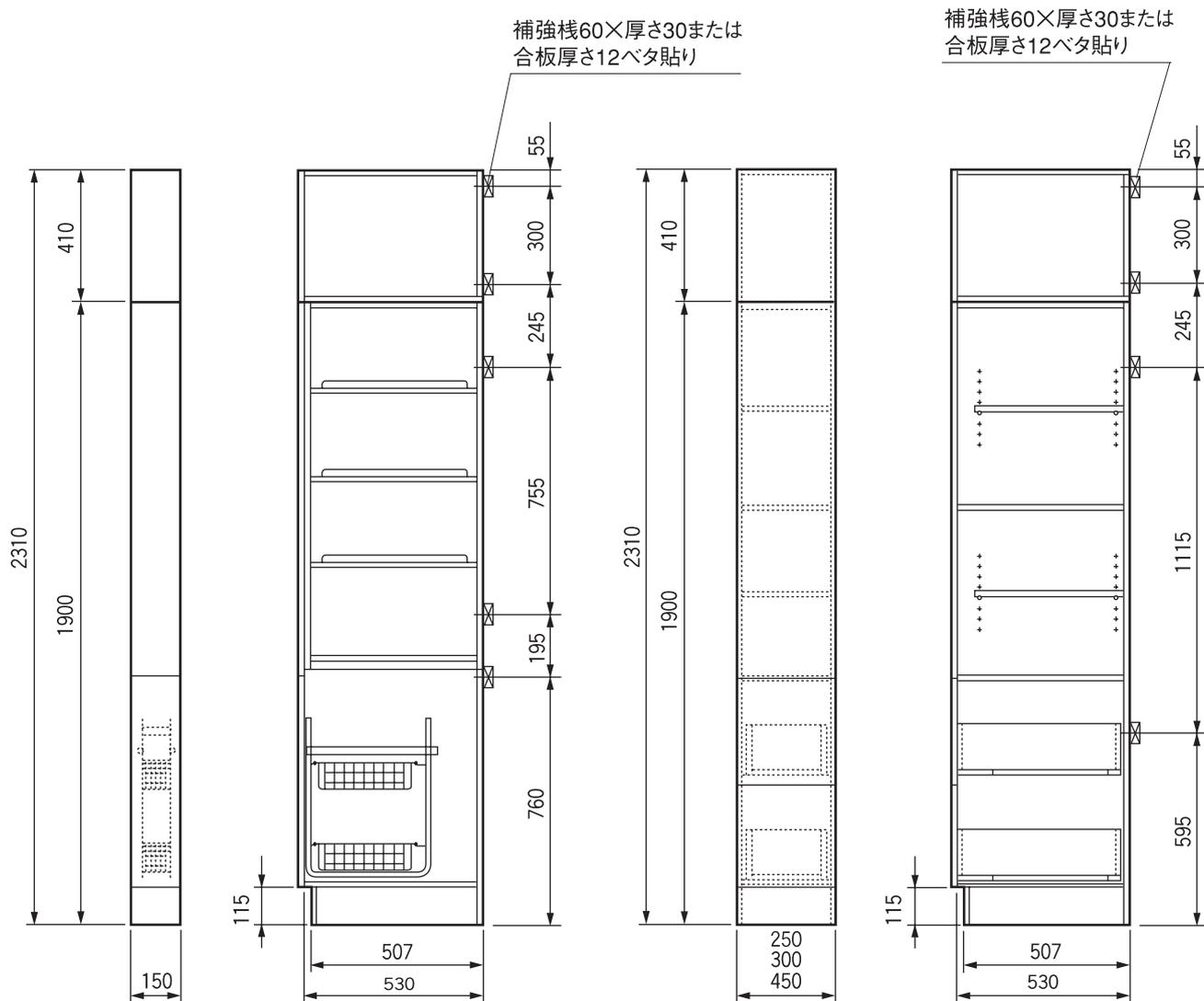


|     |
|-----|
| サイズ |
| A   |
| 750 |
| 900 |

# 寸法図

## 4. トールキャビネット (アフェット・エポック共通)

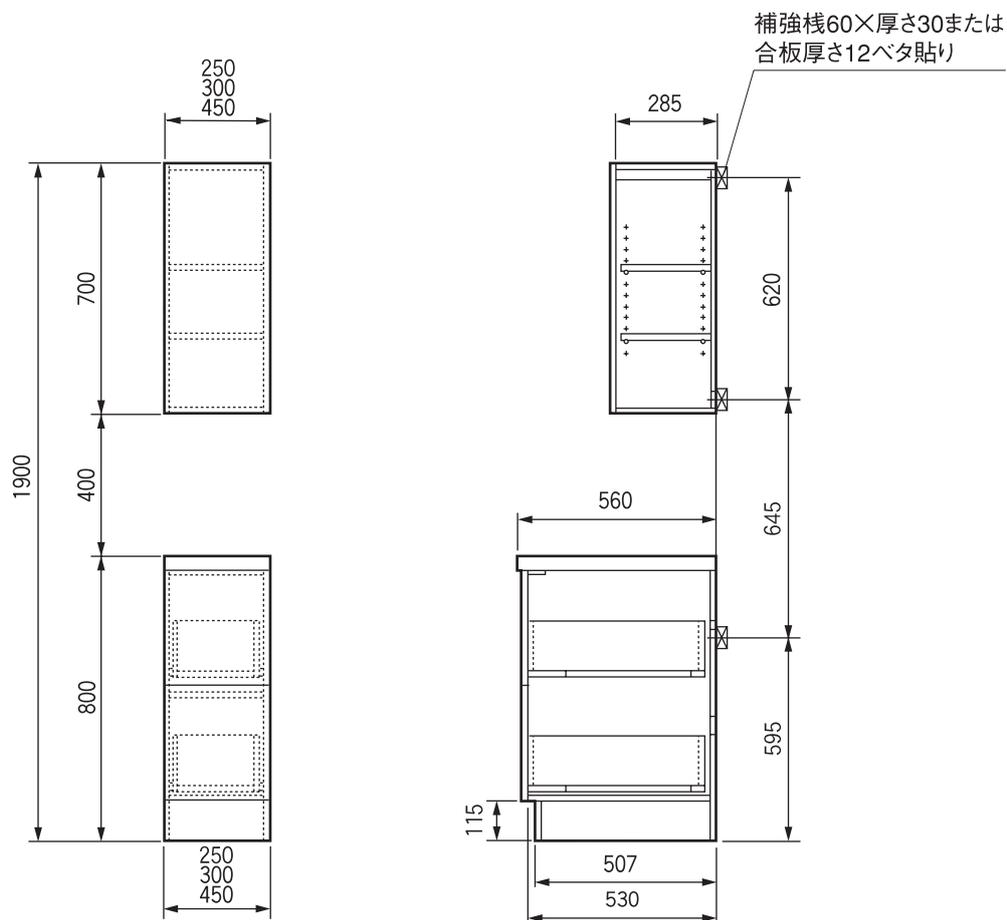
250巾はエポックのみ



# 寸法図

## 5. サイドキャビネット (アフエット・エポック共通)

250巾はエポックのみ



# 安全のために必ずお守りください

## 警告表示について

この取付設置説明書記載の警告事項 **警告**、**注意** の区別について



**警告**

取付設置を誤った場合、人が死亡、または重傷を負う可能性がある危険な状態が想定される内容を示します。



**注意**

取付設置を誤った場合、人が障害を負う可能性、または物的損害のみの発生が想定される内容を示します。

その他お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区別し説明しています。



このような図記号は、製品の取扱いに於て、その行為を禁止する図記号です。



このような図記号は、製品の取扱いに於いて、指示に基づく行為を強制する図記号です。

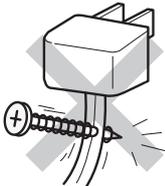
※いずれの場合も重要な内容を記載していますので、必ずお守りください。

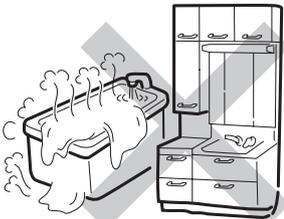
作業者の安全と使用者の安全確保のため、この取付設置説明書をよくお読みになり安全で正しい取付設置を行ってください。

### 《取付設置前に確認してください》

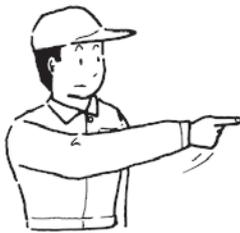
| 図記号 | <b>警告</b>   |
|-----|---|
|     | <p><b>ベースキャビネット・ツールキャビネット・ウォールキャビネット・ミラーパネル、バニティボックス、照明ボックスの取付けは、建築壁の構造を確かめて「取付設置説明書」通り正しく行なう。</b></p> <p>取付けを誤ると、使用中に取付ねじがゆるみ、ウォールキャビネット・照明ボックスが落下したり、ミラーパネル、バニティボックスが転倒してけがをするおそれがあります。</p> <p>壁の補強棧に15mm以上ねじこめる事を確認してください。</p> <div data-bbox="1102 1155 1449 1525" data-label="Diagram"> </div> |
|     | <p><b>電気工事・管工事は関連する法令、規定にしたがって、必ず「有資格者」が行なう。</b></p> <p>接続や固定が不完全な場合は、発煙や火災の原因になります。</p> <div data-bbox="1157 1563 1449 1787" data-label="Image"> </div>  |
| 図記号 | <b>注意</b>   |
|     | <p><b>壁補強棧は「松」「ひのき」などの材で虫食い、くされ、ぬけ節のないもので大きさは巾60mm、厚さ30mm以上を使用する。</b></p> <p>取付ねじがしっかりと締まらずにミラーキャビネットが転倒し、けがをするおそれがあります。</p> <p>合板使用の場合は、必ず12mm以上の厚さの物を使用してください。</p>  |

《取付設置中は必ずお守りください》

|   |   |   |
|---|---|---|
| 図記号   |  <b>警告</b> |   |
|  | <p><b>交流100Vを使用する。</b><br/>交流100V以外を使用すると過電流による火災の原因となります。</p>                              |  |
|  | <p><b>電源コードを傷付けない。</b><br/>電源コードを傷付けると漏電および火災の原因となります。</p>                                  |  |

|   |   |  |
|---|---|--|
| 図記号   |  <b>注意</b> |  |
|  | <p><b>湿気の多い場所への据え付けは避ける。</b><br/>漏電したり木部が膨潤するおそれがあります。</p>                                  |  |

《取付設置完了後に必ず実施ください》

|   |   |   |
|---|---|---|
| 図記号   |  <b>警告</b>   |   |
|  | <p><b>チェックリストに従って各部の点検試運転を行い、器具のガタツキ・漏電・水漏れなど安全上の不具合がないことを確かめる。</b><br/>「取扱説明書」は紛失しないよう大切にお客様に渡す。<br/>取付設置完了後に必ずベースキャビネット底板上又は引出の中に入れてください。</p> | <p style="text-align: center;"><b>点検ヨシ!</b></p>  |

|   |  |  |
|---|--|--|
| 図記号   |  <b>注意</b>                      |  |
|  | <p><b>据付け後の仕上げに使われる溶剤、接着剤、洗剤、その他薬品類は、容器などに記載の注意表示にしたがって正しく使う。</b><br/>誤った使い方をすると、人体に影響が出たり、使用部材の損傷や劣化の原因になります。</p> | <p style="text-align: center;">正しく<br/>ご使用ください</p>  |

# 1. 商品の確認

発注した部材の数量、サイズおよび損傷の有無を確認してください。

- 付属部品の確認……各部材には、下記付属部品が同梱されています。確認してください。
- 商品出荷には万全を期していますが、万一、異常がありましたらご連絡ください。

※規格部材品以外での取付設置はしないでください。正しい取付設置がされません。

## 付属部品一覧表

### キャビネット(カウンター付含む)

|                    | アフエット   |        | アフエット<br>(フロートタイプ) | エポック | EJ | ウォール<br>(トール<br>ウォール含む) | トールキャビネット |               | ベース<br>キャビネット  | サイド<br>ウォール<br>キャビネット |
|--------------------|---|--------|--------------------|------|----|-------------------------|-----------|---------------|----------------|-----------------------|
|                    | 750巾  | 900巾以上 |                    |      |    |                         | 150巾      | 250,300,450巾  |                |                       |
| 取扱説明書<br>(保証書付き)   |    | 1      | 1                  | 1    | 1  |                         |           |               |                |                       |
| 取付設置説明書<br>洗面化粧台用  |    | 1      | 1                  | 1    | 1  |                         |           |               |                |                       |
| トラス2条ねじ<br>φ4.5×55 |    | 2      | 2                  |      | 2  | 4                       |           | 4             | 2              | 4                     |
| 壁固定ねじ<br>φ4.5×55   |    |        |                    |      |    |                         | 2         |               |                |                       |
| トラス木ねじ<br>φ5×55    |    |        |                    | 14   |    |                         |           |               |                |                       |
| 連結ねじ<br>φ4×28      |    |        |                    |      |    | 3                       | 3         | 3             | 3              |                       |
| 皿木ねじ<br>φ3.5×25    |   |        |                    |      |    |                         | 4         |               |                |                       |
| 皿木ねじ<br>φ4.5×55    |  |        |                    |      |    |                         | 1         |               |                |                       |
| 皿タッピンねじ<br>φ3×12   |  | 4      | 4                  | 4    | 4  | 4(点検口有り)<br>6(点検口無し)    |           |               |                |                       |
| 給水プレート             |  | 2      | 2                  | 2    | 2  |                         |           |               |                |                       |
| 排水キャップ             |  | 1      | 1                  | 1    | 1  | ☆1 1<br>(点検口有り)         |           |               |                |                       |
| 排水化粧プレート           |  |        |                    |      |    | ☆2 1<br>(点検口無し)         |           |               |                |                       |
| 排水装置一式             |  | 1      |                    |      | 1  |                         |           |               |                |                       |
| 排水栓                |  | 1      |                    |      | 1  |                         |           |               |                |                       |
| 防臭キャップ             |  | 1      |                    |      | 1  |                         |           |               |                |                       |
| 棚受け                |  |        |                    |      |    |                         |           | 2セット<br>(2枚分) | ※1セット<br>(1枚分) | 2セット<br>(2枚分)         |

☆1.EJ:点検口有りの場合 ☆2.EJ:点検口無しの場合 ※引き出しタイプにはありません

### アフエット・アフエット(フロートタイプ)カウンター

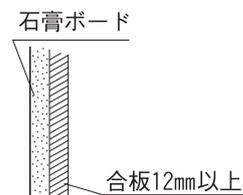
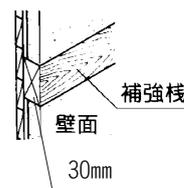
|                         | 洗面カウンター   |         |    |
|-------------------------|---|---------|----|
|                         | 900巾  | 1200巾以上 |    |
| 排水装置<br>Assy            |  | 1       | 1  |
| 排水栓                     |  | 1       | 1  |
| 防臭キャップ                  |  | 1       | 1  |
| カウンター<br>固定金具           |  | 4       | 8  |
| ステン<br>トラスタッピン<br>φ4×12 |  | 16      | 32 |
| カウンター支え木                |  | 1       | 2  |

### フィルター

|                          | フィルター   |      |    |
|--------------------------|---|------|----|
|                          | ベース   | ウォール |    |
| 皿タッピン<br>φ3.5×12         |  | 8    | 8  |
| 皿木ねじ<br>φ3.5×25          |  | 13   | 11 |
| フィルター<br>アングル            |  | 2    | 2  |
| 連結ねじ<br>(キャップ付)<br>φ4×28 |  | 2    | 3  |

## 2. 現場の確認

- ① 床の給水管・給湯管・排水管・電源コンセントの位置が取付設置図の位置にあることを確認して下さい。
- ② 壁側に壁補強桟巾60×厚さ30以上が取付けてあるかどうか取付設置図により確認して下さい。  
4ページ **▲警告** を参照して下さい。
- ③ 壁の内のり寸法が取付設置図の寸法と合っているか確認して下さい。
- ④ 壁・床の水平・垂直を確認して下さい。水平・垂直でない時はスペーサ(現地手配)で修正して下さい。
- ⑤ 扉や引出しを全開にしたときに、額縁照明に当たらない寸法がとられていることを確認して下さい。



## 3. トールキャビネット・サイドキャビネットの据付け

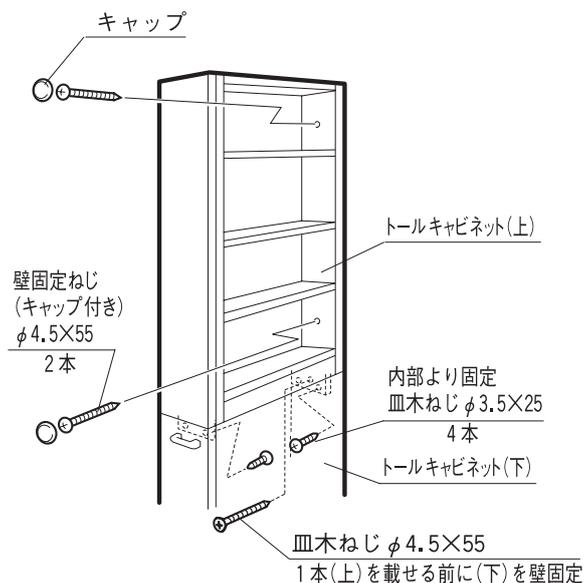
横壁と洗面化粧台の間にトールキャビネットがある場合は最初にトールキャビネットを据付けてください。

■床が水平でない時はキャビネットの下にスペーサーを入れて、水平をだして下さい。

■仮置きにした状態で、引出がドア枠等に当たらないことを確認して下さい。

### 1. 間口150mmのトールキャビネットの据付け

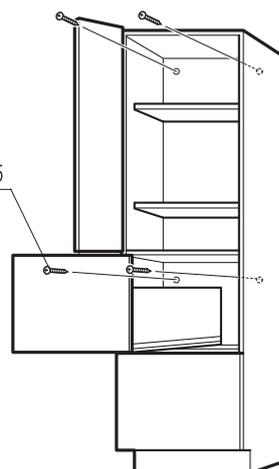
- ① トールキャビネット(下)を後の壁にφ4.5×55皿木ねじ1本でねじ固定します。
- ② トールキャビネット(下)の上部にトールキャビネット(上)のをせ扉の前面(上・下)を合わせφ3.5×25の皿木ねじ4本でトールキャビネットを連結します。
- ③ トールキャビネットを壁にφ4.5×55の皿木ねじ1本で固定します。
- ④ ねじの頭に木ねじキャップをつけてください。



### 2. 間口300mm、450mmのトールキャビネットの据付け

- ① 後の壁にキャビネット背板の穴位置でねじ4本を使用し固定します。

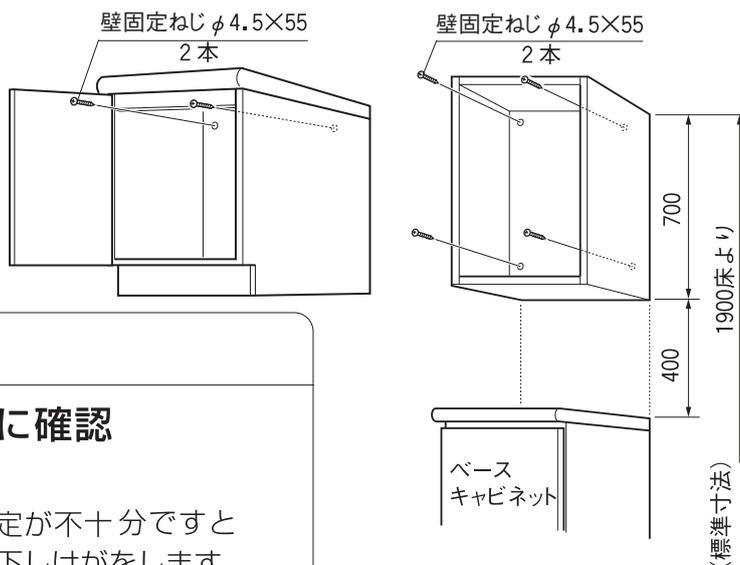
壁固定ねじ φ4.5×55  
4本



### 3. トールキャビネット・サイドキャビネットの据付け

#### 3. サイドキャビネットの据付け

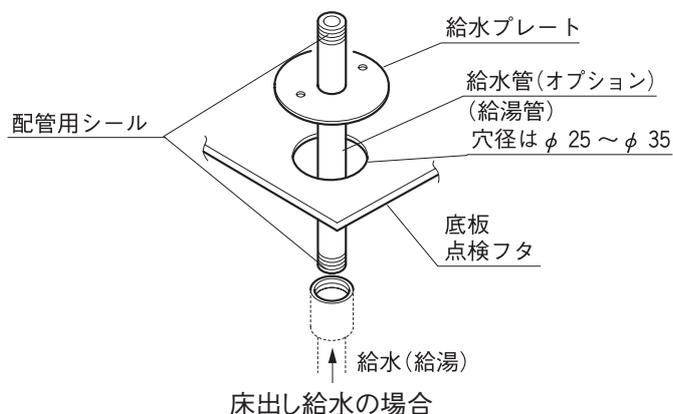
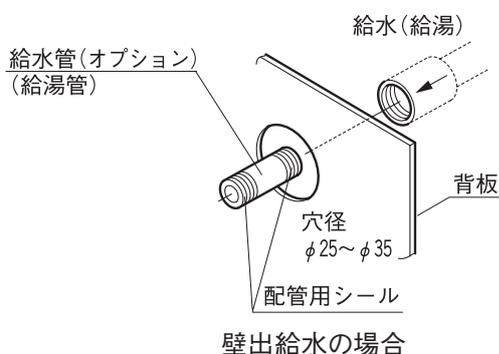
- ① サイドキャビネットのベースを壁にねじ固定します。
- ② サイドキャビネットのウォールキャビネットを壁にねじ固定します。背板の穴位置で固定してください。



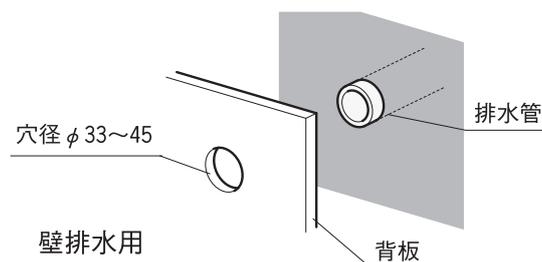
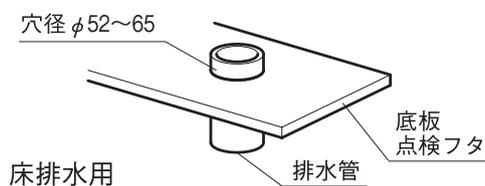
|     |   |
|-----|---|
| 図記号 | <b>警告</b>   |
|     | <p><b>壁に補強桟がある所に確認にねじ固定する。</b></p> <p>補強桟がなかったりねじ固定が不十分ですとウォールキャビネットが落下しけがをします。</p> |

### 4. ベースキャビネットの加工

- ① 給水・給湯・排水管の取出し穴加工  
ベースキャビネットを設置位置に仮置きし、現物合せで、穴をあけます。

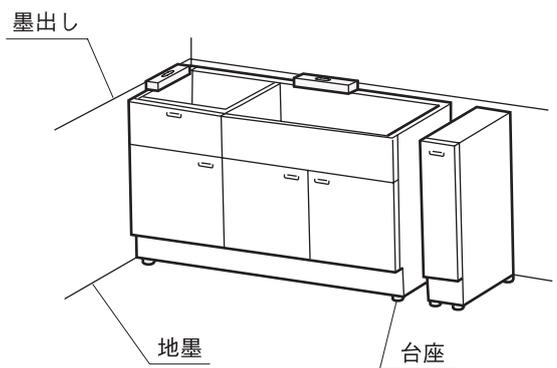
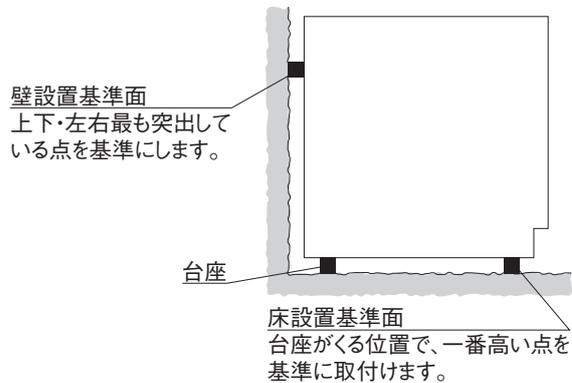


- ② オプション機器（足元温風機等）の取付けは、専用の取付設置説明書に従ってください。



## 5. ベースキャビネットの据付け

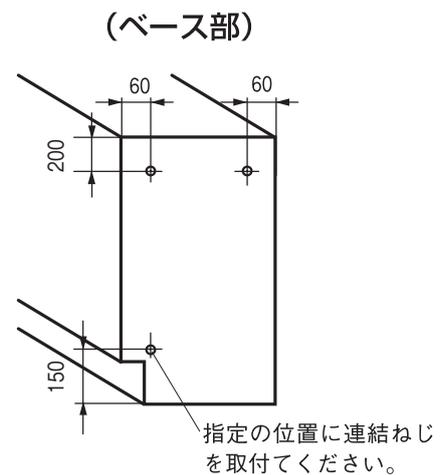
- ① ベースキャビネットを所定の位置にセットしてください。このとき必ず水準器でレベルを出してください。レベルが出ていない場合は、台座の下にスペーサー（現地手配）を使って、レベルを出してください。



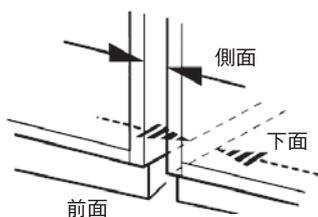
※レベル出しは、墨出しにて、地墨より、キャビネットの数mm上に基準水平線を出しておくともスムーズに行なえます。

- ② ベースキャビネットが2台以上の場合は各々のキャビネットのレベルを出してから、指定の位置にねじ固定してください。

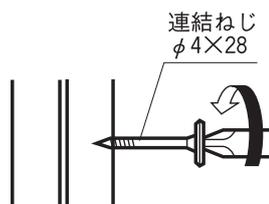
|          |   |
|----------|---|
| 図記号      | <b>⚠ 注意</b>   |
| <b>!</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>• ニースペースキャビネット側から連結しない。</li> </ul> |



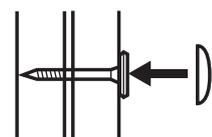
- ① 側面の(下面・側面)がそろうようにしてください。



- ② ドライバーで指定の位置に締め付けます。(3ヶ所)



- ③ キャップをはめ込みます。



キャップは、すべての取付完了後、再確認し、キャップはすべて取付けてください。

③ フィラーの取付け（フィラーがある場合はここで取付けてください。）

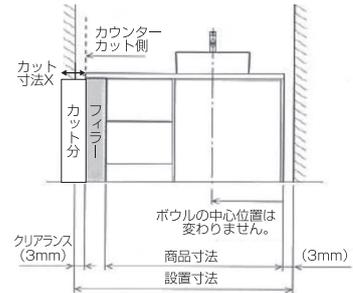
●フィラー同梱部品

|                   |  |   |                            |  |   |                  |  |    |      |  |   |
|-------------------|--|---|----------------------------|--|---|------------------|--|----|------|--|---|
| 鏡板                |  | 1 | 取付棧<br>(取付孔有)              |  | 1 | 前板               |  | 1  | 取付棧下 |  | 1 |
| ケコミ板<br>(取付孔有)    |  | 1 | ナベタッピン<br>φ3.5×12          |  | 8 | 皿タッピン<br>φ3.5×25 |  | 15 | L金具  |  | 2 |
| スペーサー<br>(両面テープ付) |  | 6 | 連結ねじ<br>(キャップセット)<br>φ4×28 |  | 3 | ホロテープ            |  | 1  |      |  |   |

③-1 フィラーの組立

※図は、フィラーが左端の場合を示しています。右端の場合は、左右逆に組立すること。  
鏡板は、他の扉との間を均等にするため、カット寸法+2.5mmで加工してください。

- (1) 鏡板、前板、取付棧下、ケコミ板を必要な幅にカットする。
- (2) 下図の手順で組み立ててください。



①

取付棧の切欠きに合わせて前板、けこみ板を皿タッピンで固定してください。

②

取付棧下と、L金具を固定してください。  
※フィラー幅が25~50mmまでは、「取付棧下」「L金具」を使わずに組み立ててください。

③

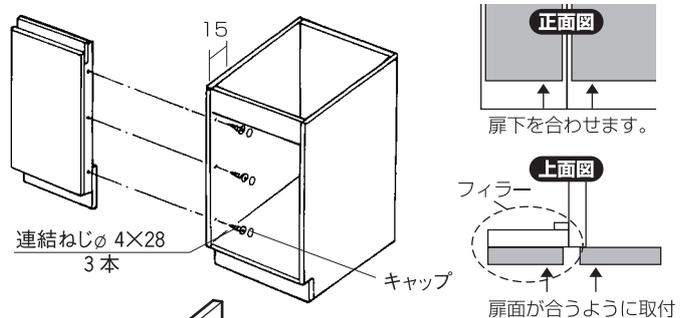
スペーサーを図のように貼り付けてください。  
端から10mm離してください。

④ 組立完了図

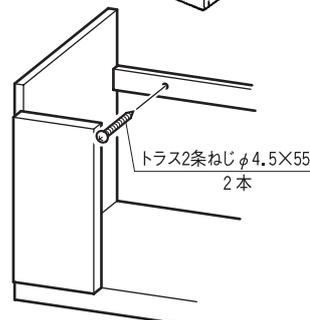
他キャビネットの扉と合わせる図のように扉を取り付けてください。

③-2 フィラーの取付

取付するキャビネット内側から連結ネジで取り付けてください。  
※鏡板は、キャビネットの扉面と合うように取り付けてください。



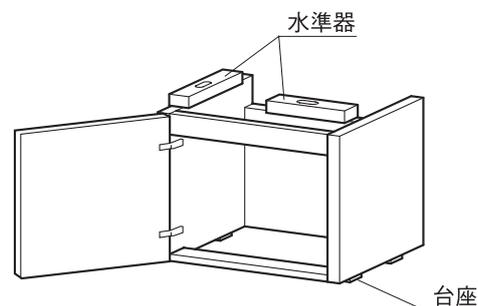
- ④ 壁取付位置へビス締めをしてください。  
(トラス2条ねじφ4.5×55 (左右2カ所))



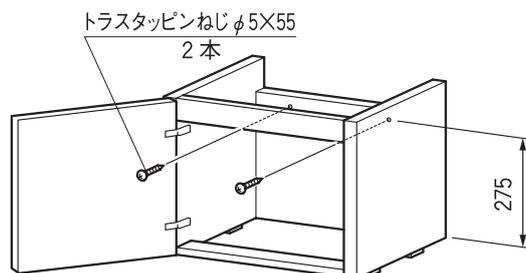
## 2. アフェット(フロートタイプ)の据付け

- ① 配管ボックスを所定の位置にセットし、水準器でレベルを出してください。レベルが出ていない場合は、台座の下にスペーサー（現地手配）をかって、レベルを出します。

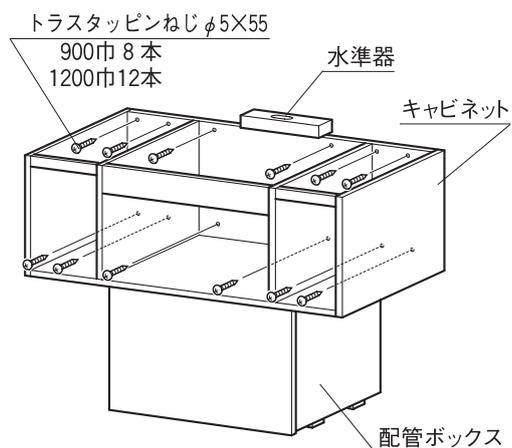
※左右の中心はカウンターの中心となります。



- ② 配管ボックスを壁にねじ固定します。  
※壁との間にスキマがある場合はスペーサーをかってください。

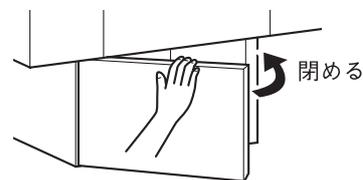


- ③ キャビネットの壁固定  
配管ボックスの上にキャビネットを載せ壁にねじ固定します。この時もう一度水準を確認してください。



### 警告

壁に補強桟があることを確認して指定ねじを使用し、確実に壁固定する取付けが不十分ですと、傾けてケガをします。



## 6. 水栓の取付け

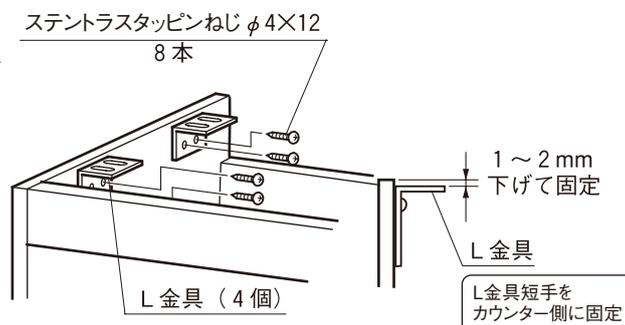
水栓は専用の「施工説明書」が水栓に同梱されています。必ずよく確認して、正しく取付けてください。



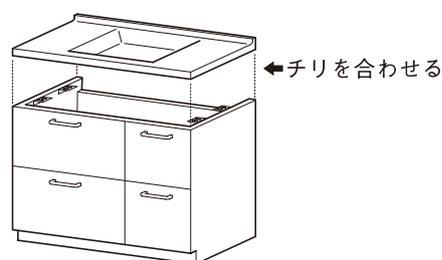
## 7. カウンターの取付け

- アフェットの間口750はキャビネットにカウンターが取付けて出荷されています。
- エポックはキャビネットにカウンターが取付けて出荷されています。

- ① キャビネットにL金具をねじ固定します。  
キャビネット側板上面より1～2mm下げて取付けてください。

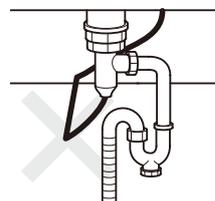


- ② キャビネットの上にカウンターを載せます。  
左右のチリを合わせ、キャビネットとカウンターの後面を合わせて後の壁とスキマがない状態にしてください。

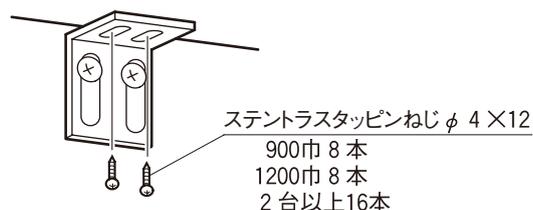


### お願い

排水栓用ワイヤーを折り曲げないように注意してカウンターを設置してください。



- ③ キャビネットのL金具を利用し、カウンターをねじ固定します。



## 8. ミラーキャビネット・ミラーおよびバニティキャビネットの取付け

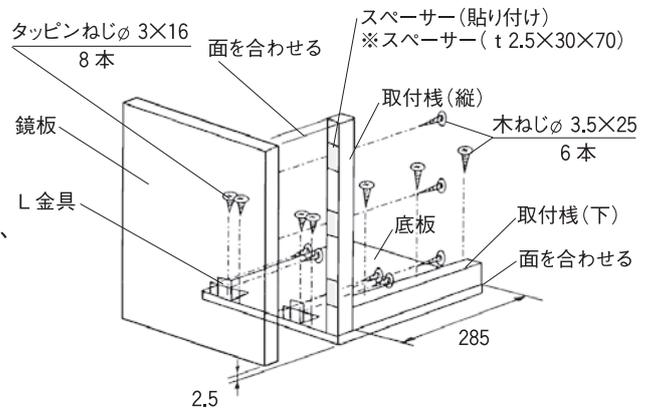
- ミラーキャビネット・ミラーに同梱されている専用「取付設置説明書」に従い正しく作業してください。

## 9. ウォールキャビネットの取付けと連結

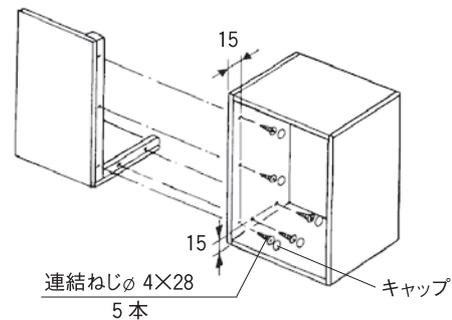
### ① ウォールフィラーの取付け

プランにフィラーがある場合ははじめに隣接するキャビネットに取付けます。

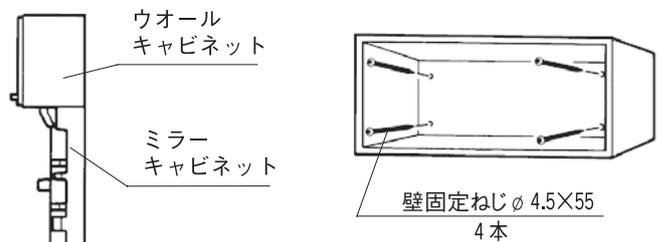
- ①-1 鏡板及び底板を必要な巾にカットした後右図のように取付棧、L金具を取付けます。隣り合うキャビネットとの段差をなくす為、スペーサーを貼り付け後鏡板をねじ固定してください。図はフィラーが左端の場合を示しましたが、右側の場合は左右逆に組立ててください。



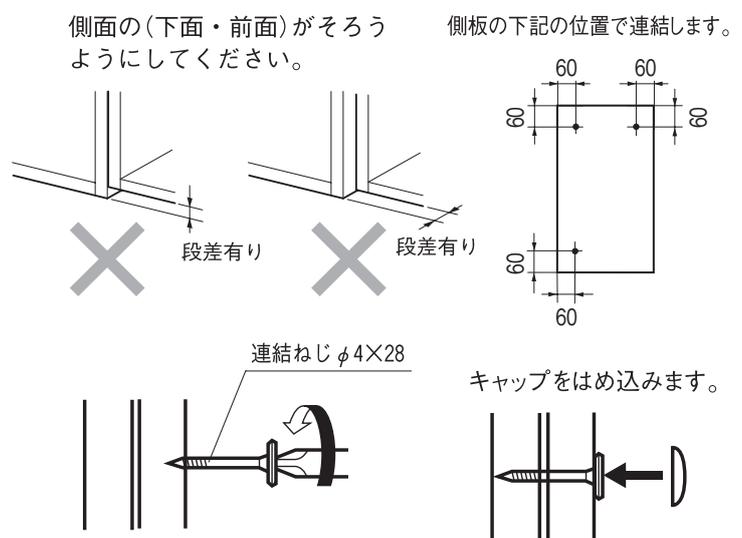
- ①-2 組み立てたフィラーは隣のキャビネットの内側から木ねじで固定してください。



- ② ウォールキャビネットをミラーキャビネットの上に乗せ、扉を開け壁固定ねじφ4.5×55で壁へ固定してください。



- ③ キャビネットが複数の場合はチリを合わせて連結してください。



キャップは、すべての取付完了後、再確認し、キャップはすべて取付けてください。

**警告**

管工事は関連する法令、規定に従って必ず「有資格者」が行う。

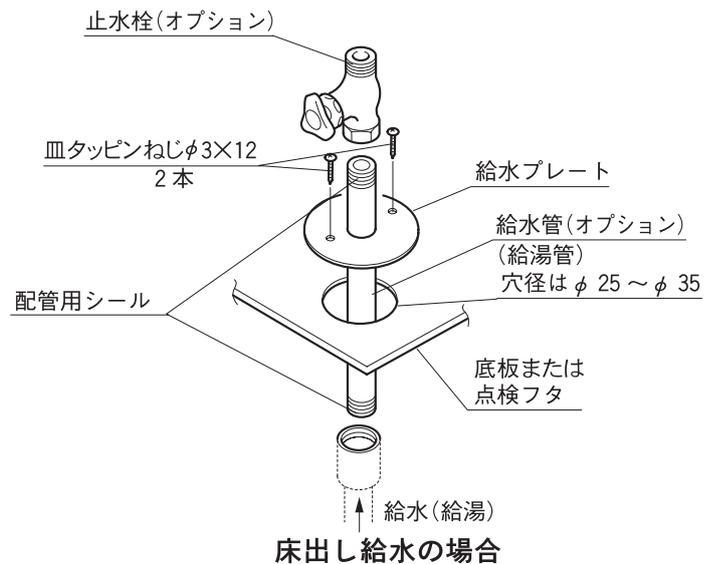
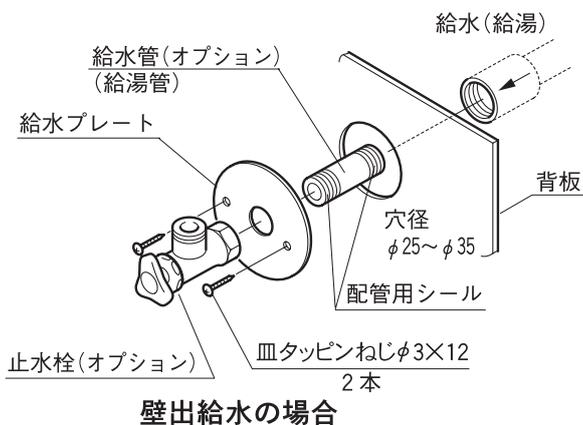
**10. 止水栓の取付け** ～止水栓は別途調達願います～ **一管工事**

| 図記号   | 注意  |
|---|---|
|  | <p><b>建築配管・止水栓・水栓それぞれの接続は水栓付属の「施工説明書」と下記説明に従い、水漏れのないように施工する。</b><br/>水漏れによりキャビネットや家財が腐食損傷します。</p> |
|  | <p><b>水栓の配管接続部はテーパねじに接続しない。</b><br/>水漏れによりキャビネットや家財が腐食損傷します。</p>                                  |
|  | <p><b>逆止弁を取付けるとき、パッキンを確実に入れる。</b><br/>パッキンがないと水漏れの原因となります。</p>                                    |

① 給水管に給水プレートをとoshi皿木ねじで固定します。

② 給水・給湯配管に止水栓を取付けます。

- 止水栓は工具で確実に締め付けてください。



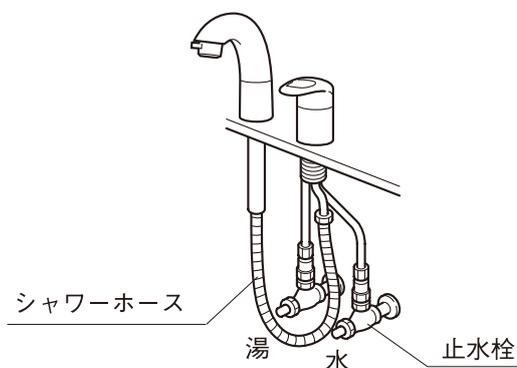
## 11. 水栓との接続－管工事

※施工は水栓付属の「施工説明書」に従ってください。

| 図記号  | ⚠ 注意   |
|--|--|
|   | <p><b>給水・給湯パイプは折らない。</b><br/>給水・給湯パイプの亀裂や破損の原因となり、水漏れにより家財が腐食損傷します。湯水が十分に出ない場合があります。</p> |
|   | <p><b>湯・水パイプの逆配管をしないよう正確に接続する。</b><br/>誤配管によってやけどやけがをするおそれがあります。</p>                     |
|   | <p><b>接続が完了したら接続部分を確認する。</b><br/>確実に接続がされていないと、パイプがはずれたり漏水したりして家財を腐食損傷するおそれがあります。</p>    |
|  | <p><b>シャワーホースを上下させたときに引かからないことを確認する。</b></p>   |

### 給水・給湯パイプとの接続

- ① 右の絵はシャワー付シングルレバー水栓の例です。  
水栓のメーカーによって接続方法が異なりますので専用の「施工説明書」を確認し、正しく施工してください。
- ② 接続後 シャワーホースがスムーズに出入りするのをチェックしてください。



止水栓はオプションとなります。

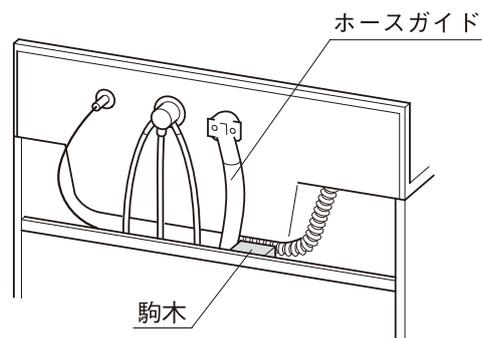
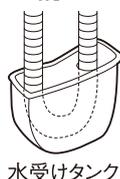
### エポック・EJの場合

- ホースガイドを駒木の内側に入れてください。

#### ⚠ 注意

シャワーホースは、水受けタンクの中にきちんと納める。

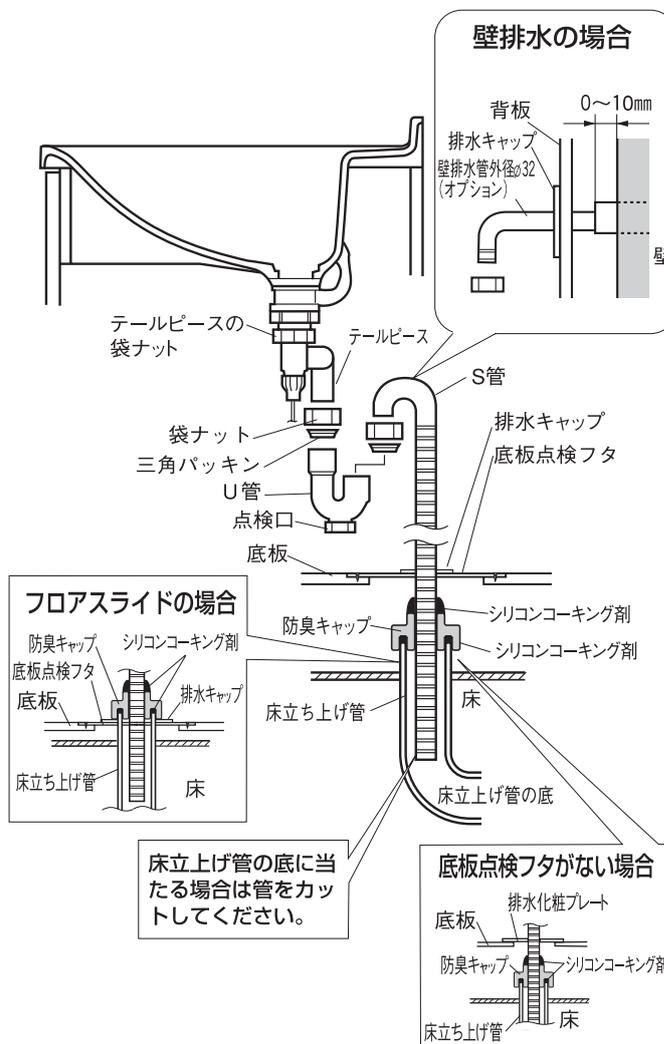
シャワーホースが水受けタンクに納まっていないと、ホースを伝って水がキャビネット内に落ち、キャビネットおよび家財が損傷するおそれがあります。



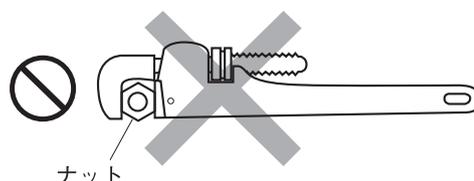
## 12. 排水装置の接続—管工事

| 図記号 | ⚠ 注意   |
|-----|--|
| ❗   | <b>排水装置と建築配管の接続およびコーキングは水漏れ、臭い漏れのないように施工する。</b><br>水漏れによりキャビネットや家財が腐食・損傷します。 |
| ❗   | <b>排水装置の接続はパッキンを確実に入れる。</b><br>パッキンがないと水漏れします。                               |
| ❗   | <b>高圧洗浄の可能性がある場合は、必ず床排水の場合は直管排水キット、壁排水の場合は壁排水管を使用してください。</b>                 |
| ❗   | <b>コーキング剤は現地で手配する。</b>   |

- ① テールピースの袋ナットをゆるめテールピースの方向を床立上げ管（排水管）の方向に合せ、テールピースの袋ナットを締付けてください。
- ② S管に排水キャップ・底板点検フタ・防臭キャップをさし込み、床立上げ管にS管をさし込んでください。
- ③ テールピース及び三角パッキンがぬれたり、汚れている場合は、水ぶき後、乾いた布できれいに清掃してください。  
油やぬめりが残らない様にきれいにふきとってください。
- ④ テールピースに袋ナット・三角パッキンをさし込み、テールピースをU管のつき当たり部までさし込んでください。
- ⑤ U管に三角パッキンを均等に収め袋ナットが回らなくなるまで締付けてください。  
**締付トルク 392N・cm(40kgf・cm)**  
(成人男性が最も強く手締めした場合に相当します。)  
※スパナ等の工具で締め付けしないでください。
- ⑥ S管とU管との取付けも上記と同様に行ってください。
- ⑦ S管の長さは床立上げ管の底に当たらずベースキャビネット内でたわまない長さにカットしてください。
- ⑧ 床立上げ管と防臭キャップとS管の収まりを確認後、防臭キャップと床立上げ管にシリコンコーキング剤を塗布してください。
- ⑨ **底板点検フタがある場合** 底板点検フタを底板にセットして6ヶ所手締めでたわまない様にねじ止めしてください。  
**底板点検フタがない場合** 排水化粧プレートを2ヶ所ねじ止め（皿タッピンねじφ3×12）してください。

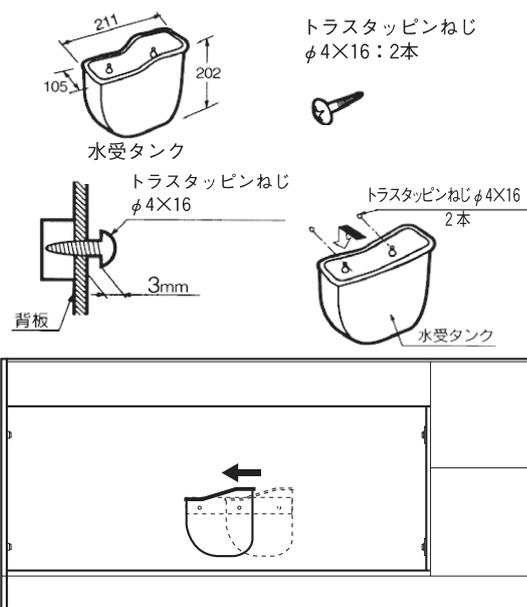


排水装置の袋ナットは工具で締めない。



## 13. 水受タンクの取付け

- ① 水受けタンクを用意してください。  
(ねじは箱の背板に取付けられています)
  - ② ねじの頭は背板から3mm浮かして止めてください。
  - ③ 水受タンクを引っ掛けてください。
  - ④ シャワーホースを水受タンクへ納めてください。  
シャワーホースがスムーズに出し入れできるかチェックしてください。
- 間口1650の場合には水栓のシャワーホースが、水受タンク内に入る様に水受けタンクをずらしてください。



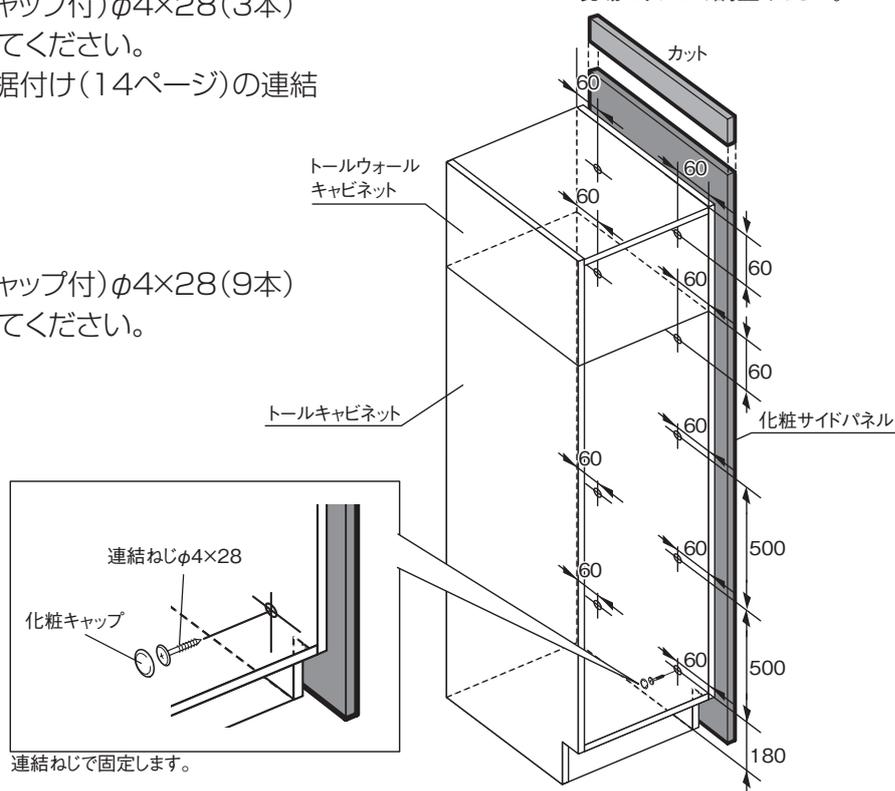
## 14. 化粧サイドパネルの取付け(オプション)

| 図記号 | ⚠ 注意                                      |
|-----|---|
|     | <b>化粧サイドパネル側から連結しないこと。</b>                |
|     | <b>引出しレール等に干渉する場合は、連結ねじ位置をずらして連結すること。</b> |

- ① ベース用化粧サイドパネル  
キャビネットの内側から連結ねじ(キャップ付)φ4×28(3本)  
(化粧サイドパネルに同梱)で固定してください。  
連結位置は5.ベースキャビネットの据付け(14ページ)の連結ねじ位置に従ってください。

化粧サイドパネルの高さは上側を、現場カットにて調整ください。

- ② トール用化粧サイドパネル  
キャビネットの内側から連結ねじ(キャップ付)φ4×28(9本)  
(化粧サイドパネルに同梱)で固定してください。

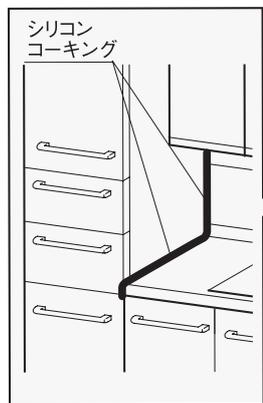


トール用化粧サイドパネル固定位置

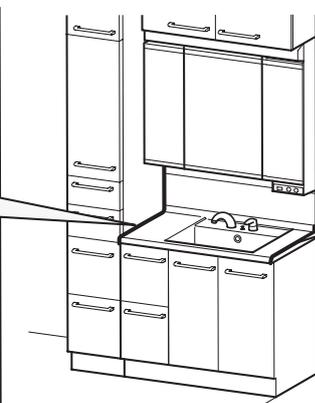
## 15. カウンター周りのコーキング

下図の部分にシリコンコーキングをしてください

|          |  |
|----------|--|
| 図記号      | <b>⚠ 注意</b>  |
| <b>!</b> | シリコンコーキングを必ず行う<br>コーキングを忘れるとスキマから水が侵入し、キャビネットや家財が腐食、損傷します。 |



サイドキャビネットがある  
場合のシリコンコーキング



壁や化粧サイドパネルと  
カウンターのシリコンコーキング

## 16. 扉・引出しの調整

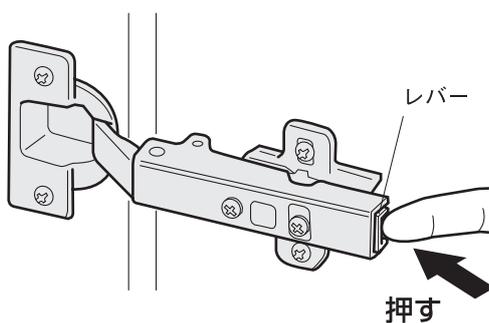
### 1. 扉の取付け、取外し (ワンタッチで着脱できます。)

#### ⚠ 注意

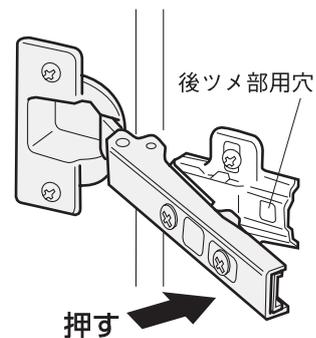
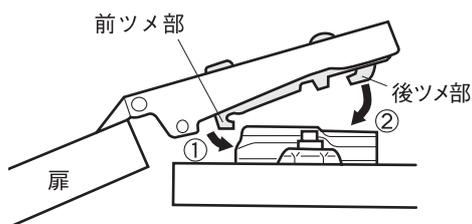
扉を少しゆすって固定されていることを確認する。  
前ツメ部が丁番座前部に差し込まれていない場合、扉が外れて落下します。

#### ●取外し

レバーを中に押しとはずれます。  
(片方手で扉を保持してください。)



#### ●取付け

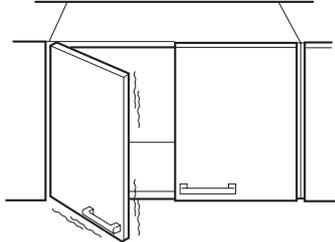


●丁番本体を後ツメ部用穴に押しつけると、取付きます。

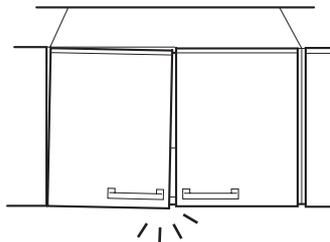
### 2. 扉の調整

#### 扉の調整が必要な時

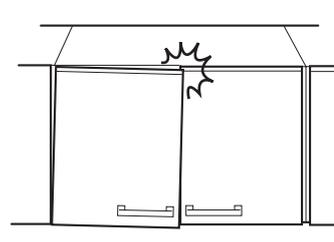
① 扉を開閉する時にガタつく



② 扉が完全に閉まらない



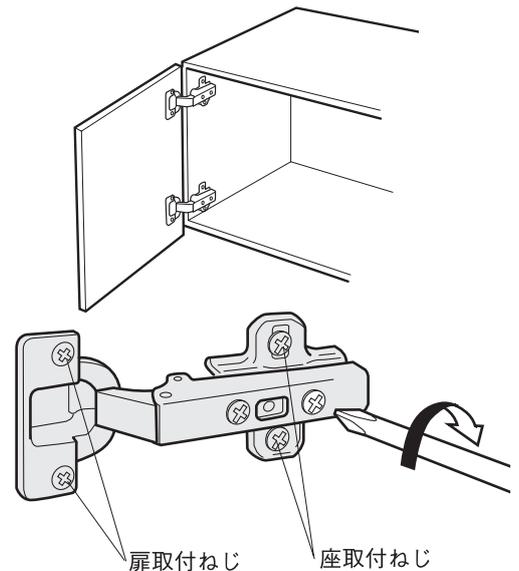
③ 扉を閉めた時に隣の扉に当たる



## ① 扉を開閉する時ガタつく場合の調整方法

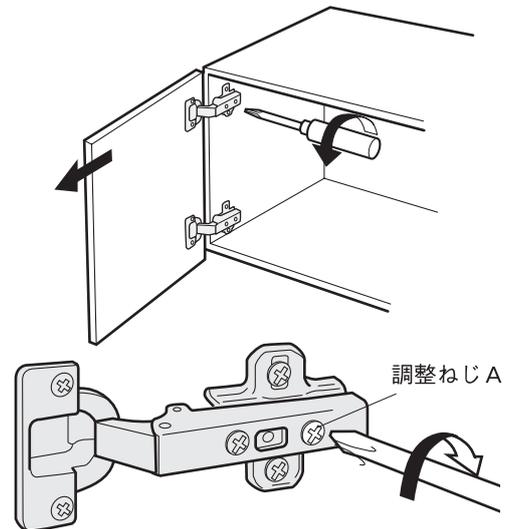
### ⚠ 注意

扉取付ねじや座取付ねじがゆるんでいる場合は、弊社営業所に連絡する。  
そのままにしますと、扉がはずれて落ちる危険性があります。



## ② 扉が完全に閉まらない場合の調整方法

閉まらない原因は、丁番を固定した位置が悪いからです。調整ねじAを廻すと自動的に扉が前後に動きますので、1～2mm手前側に移動させます。最後に、扉の締め状態を確認してください。不十分な場合や、出すぎた場合はやり直してください。上下の2つの丁番調整が必要な場合もあります。

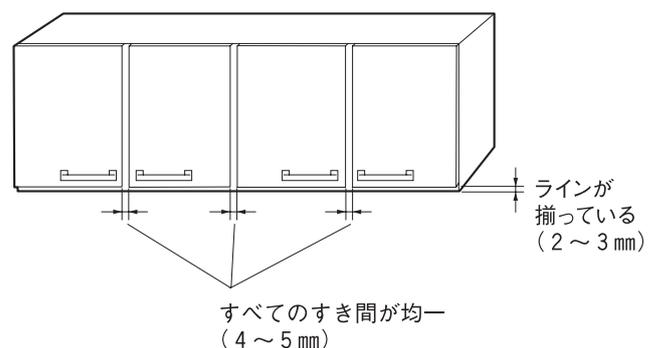
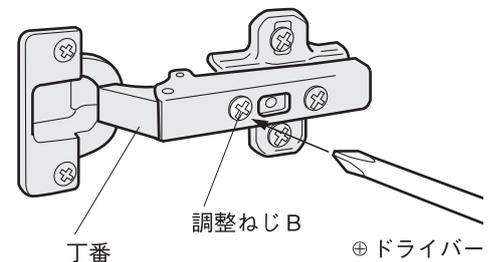


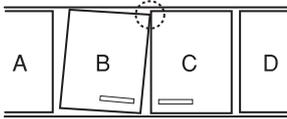
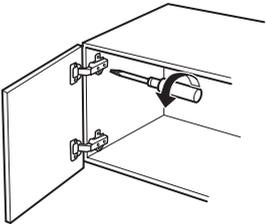
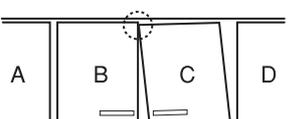
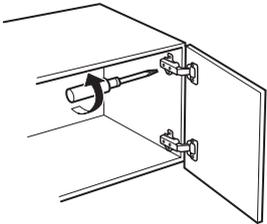
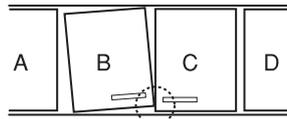
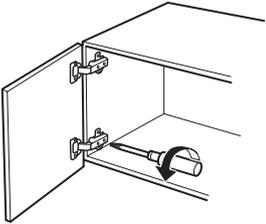
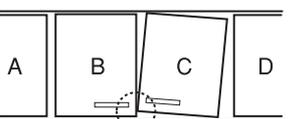
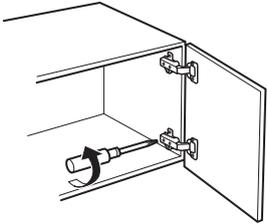
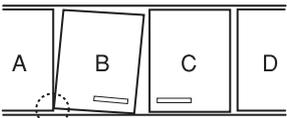
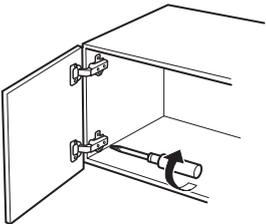
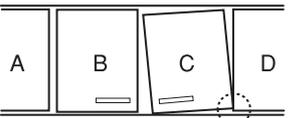
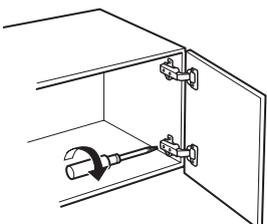
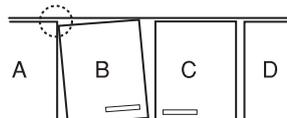
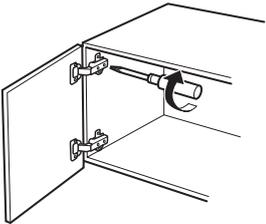
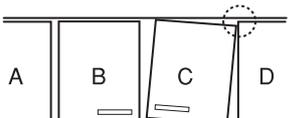
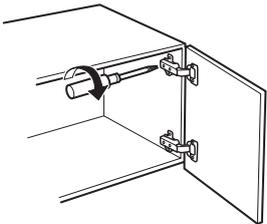
## ③ 扉を閉めた時に隣の扉に当たる場合の調整方法

隣の扉に当たる現象は、次ページのように8パターンありますが、調整はすべて右図の丁番調整ねじBで行ないます。

いずれの調整方法の場合も、調整ねじを1回転した後、扉を締めて状態を確認し、不足の時は調整ねじを同じ方向にもう少し廻してください。また廻し過ぎて逆に傾いた時は、反対方向に少し戻してください。

右図のようにするのが最良ですが、建物のわずかな歪みや収納物の重みできれいに揃わない場合があります。その時は座取付ねじをゆるめて扉全体を上下に移動して調整してください。ゆるめた座取付ねじは必ずかたくねじ止めしてください。



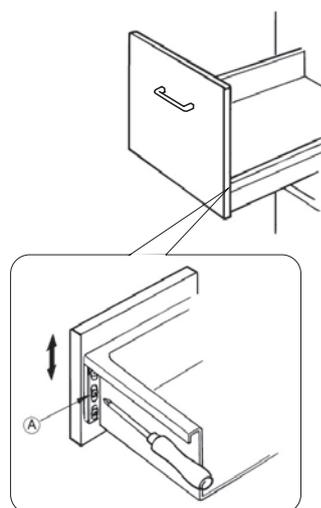
| 現 象  | 調整方法  | 現 象   | 調整方法  |
|--|---|---|---|
| <p>B扉が時計方向に傾き、C扉に当たる。</p>     | <p>B扉の上丁番を調整します。<br/>〔調整ねじBを反時計方向に1回転します。〕</p>   | <p>C扉が反時計方向に傾き、B扉に当たる。</p>    | <p>C扉の上丁番を調整します。<br/>〔調整ねじBを反時計方向に1回転します。〕</p>   |
| <p>B扉が反時計方向に傾き、C扉に当たる。</p>   | <p>B扉の下丁番を調整します。<br/>〔調整ねじBを反時計方向に1回転します。〕</p>  | <p>C扉が時計方向に傾き、B扉に当たる。</p>    | <p>C扉の下丁番を調整します。<br/>〔調整ねじBを反時計方向に1回転します。〕</p>  |
| <p>B扉が時計方向に傾き、A扉に当たる。</p>   | <p>B扉の下丁番を調整します。<br/>〔調整ねじBを時計方向に1回転します。〕</p>  | <p>C扉が反時計方向に傾き、D扉に当たる。</p>  | <p>C扉の下丁番を調整します。<br/>〔調整ねじBを時計方向に1回転します。〕</p>  |
| <p>B扉が反時計方向に傾き、A扉に当たる。</p>  | <p>B扉の上丁番を調整します。<br/>〔調整ねじBを時計方向に1回転します。〕</p>  | <p>C扉が時計方向に傾き、D扉に当たる。</p>   | <p>C扉の上丁番を調整します。<br/>〔調整ねじBを時計方向に1回転します。〕</p>  |

### 3. 引出し鏡板の調整

#### ① プラスチック引出しの場合

高さ方向の調整ができます。  
左右の扉と上下のラインがそろっていない場合は調整してください。

- ① ねじAを少しゆるめ、鏡板を上下させます。  
調整巾±2mm
- ② 再びねじAを締め付けます。  
締め付けは使用中にゆるまないように、かたく締め付ける。

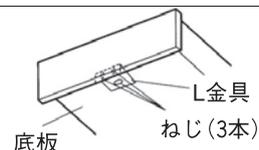


#### ② 引出し上部レールの場合

#### 調整を行う前に

お願い

間口600mm以上の引出し底板にL金具がついています。  
調整の際は、ねじをゆるめてから行う。  
調整後はねじを締め直してください。



#### ■レール側面にキャップが付かないタイプ

##### ① 高さの調整

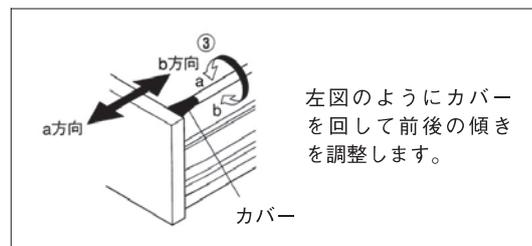
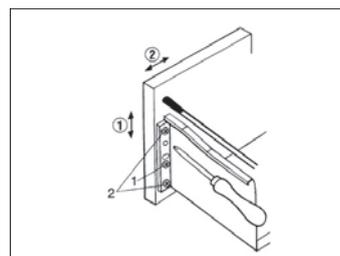
ねじ2を少しゆるめ、ねじ1で調整します。  
(調整巾±2mm) 再びねじ2を締め付けます。

##### ② 左右の調整

ねじ2を少しゆるめ、鏡板の左右の位置を調整します。  
(調整巾±1.5mm) 再びねじ2を締め付けます。

##### ③ 傾きの調整

カバーを回して前後の傾きを調整します。



#### ■レール側面にキャップが付くタイプ

##### ① 高さの調整

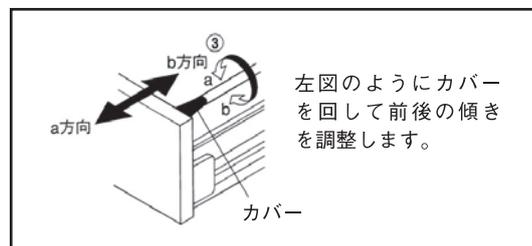
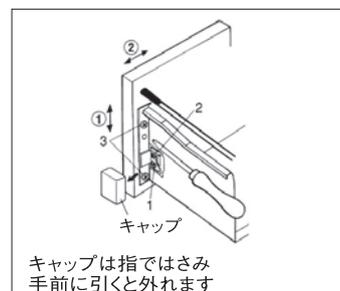
ねじ2を少しゆるめ、ねじ1で調整します。  
(調整巾±2mm) 再びねじ2を締め付けます。

##### ② 左右の調整

ねじ3を少しゆるめ、鏡板の左右の位置を調整します。  
(調整巾±1.5mm) 再びねじ3を締め付けます。

##### ③ 傾きの調整

カバーを回して前後の傾きを調整します。



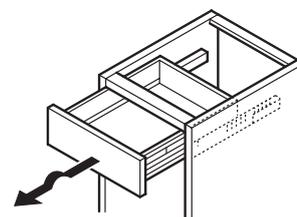
締め付けは使用中にゆるまないように、かたく締め付ける。

### ③ メタル引出し下部レール

#### ③-1 引出しの外し方、入れ方

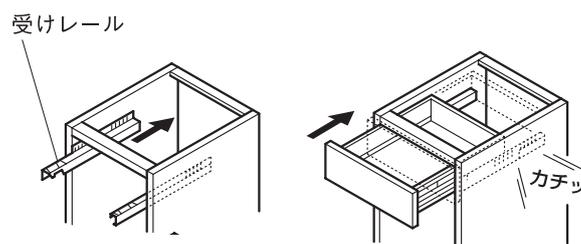
##### 外し方

引出しをストップするところまで引出し、少し持ち上げ（パチッと音がしてロックが外れます。）てから引き出してください。



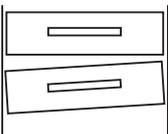
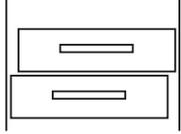
##### 入れ方

受けレールを奥まで入れます。  
引出しを載せ、奥まで押してください。  
（カチッと音がしてロックが掛かります。）

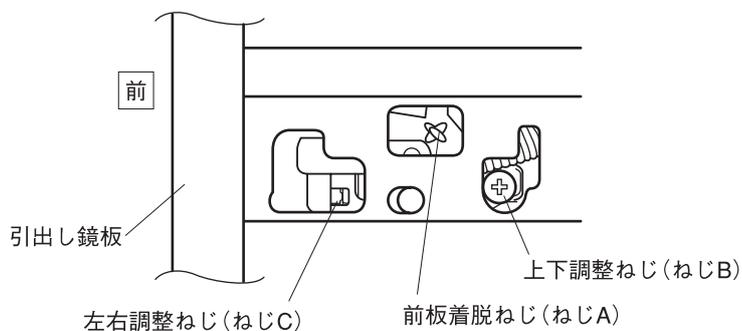
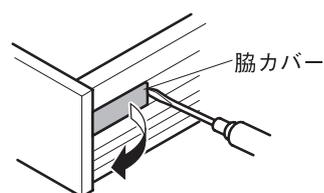


#### ③-2 引出し鏡板の調整

##### 引出し鏡板の調整が必要な時

|   |  |   |  |
|---|--|---|--|
| <p>① 鏡板が傾いている</p>  | <p>② 鏡板のすきが多い<br/>(6 mm以上ある)</p>  | <p>③ 鏡板の左右がずれている</p>  | <p>④ 大引出しの鏡板が<br/>前後に傾いている</p>  |
|---|--|---|--|

レール脇カバーを外して調整を行います。  
カバーを外すと右図のようになっています。



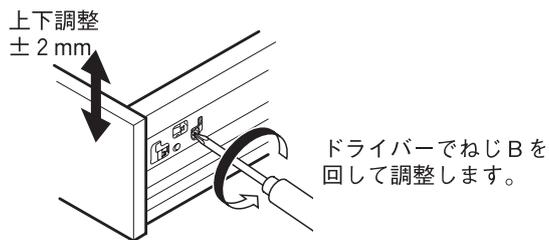
#### お願い

脇カバーを外す際、爪を傷つけない様にマイナスドライバーを使用してください。

① 鏡板が傾いている場合の調整

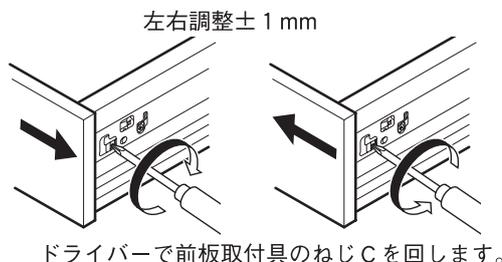
② 鏡板のすきが大きの場合の調整

どちらの場合もねじBを回して調整します。



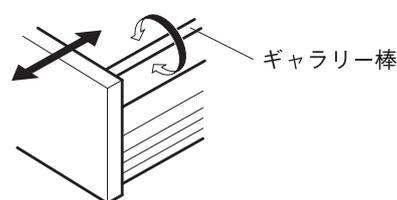
③ 鏡板の左右がずれている場合の調整

ねじCを回して調整します。



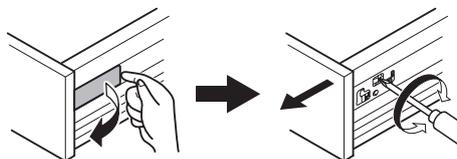
④ 大引出しの鏡板が前後に傾いている場合の調整

右図のようにギャラリー棒を回して前後の傾きを調整します。



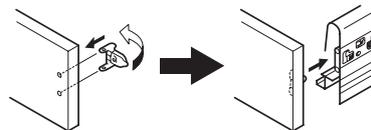
引出し鏡板の取付け、取外し

《引出し鏡板の取外し方》



脇カバーを外し、ドライバーでねじAを回します。

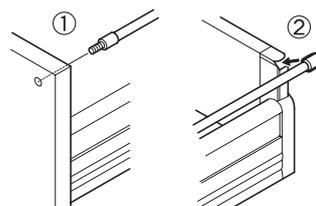
《引出し鏡板の取付け方》



前板取付具を前板に取付け、前板を押すだけです。カチッという音を確認してください。

ギャラリーの取付け、取外し

《ギャラリーの取付け方》

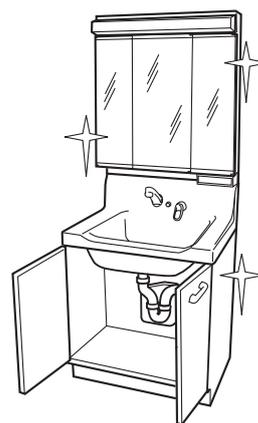


①ギャラリーを前板下穴に入れる。  
②背板取付具に押し入れる。

## 17. 点検・清掃

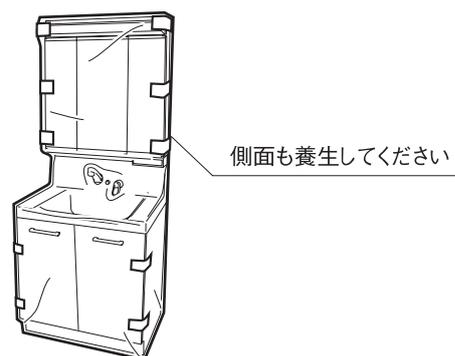
| 図記号 | ⚠ 注意  |  |
|-----|---|--|
| !   | <b>取付設置完了後は扉の傾きやガタつき、丁番のゆるみがないことを必ず確認する。</b><br>扉の取付けが不完全ですと、使用中に扉が落下してけがをするおそれがあります。 |  |

- 表面のほこり、汚れを拭き取りながら傷など損傷の有無を点検してください。
- 梱包材、木くずなど取付設置時にでた不用物を片付けてください。
- 水漏れのないことを確認してください。  
設置工事が終わりましたら、排水装置と排水管などの接合部から水漏れのないことを確認してください。
- お客様に引渡す前に、必ず **(19.チェックリスト)** に従って総点検をしてください。
- 本体に同梱されている「取扱説明書」(保証書付)はお客様にお渡しする大切な書類です。  
紛失や汚れのないように保管し、取付設置後、キャビネット引出し、または底板上に必ず置いて、お客様にお渡ししてください。



## 18. 養生

- 養生は梱包材を利用してください。
- 水栓部および鏡など破損するおそれのある部分は、ビニールなどで見えるように養生してください。角などはダンボールを当ててください。
- 木部には直接養生テープを貼らないでください。直接貼った場合にはシートがはがれる事があります。
- 養生に使うテープは、粘着力の弱い(マスキングテープなど)ものを使用してください。



## 19. チェックリスト －取付設置完了後に必ず実施ください－

| 項目        | No. | チェック項目                             | チェック |
|-----------|-----|------------------------------------|------|
| 建物のおよび全体感 | 1   | 取付設置図どおり商品が取り付けられているか。             |      |
|           | 2   | 商品の外観にキズなどの異常はないか。                 |      |
| キャビネット    | 1   | ウォールキャビネットは壁にしっかり固定されており、ガタツキはないか。 |      |
|           | 2   | キャビネットの上・下前後は揃っているか。               |      |
| 扉         | 1   | 上下・左右のバランスは良いか。                    |      |
|           | 2   | 開閉時、丁番のキシミ音はないか。                   |      |
|           | 3   | 丁番の止めねじの増締めは完全か。                   |      |
| 水まわり      | 1   | ボウルへ満水にして水漏れはないか。                  |      |
|           | 2   | 給水・給湯管、排水装置に水漏れはないか。               |      |
|           | 3   | 排水管へのつなぎ・コーキングは確実か。                |      |
|           | 4   | 排水装置が引き出しに干渉していないか目視で確認する。         |      |
| 水         | 1   | 固定はしっかりされており、ガタツキはないか。             |      |
|           | 2   | 給水・給湯の接続部からの水濡れはないか。               |      |
|           | 3   | 水量調整はしてあるか。                        |      |
|           | 4   | シャワー・直流の切替はスムーズか。                  |      |
| 栓         | 5   | シャワーホースの出し入れはスムーズか。                |      |
|           | 6   | シャワーホースが水受タンクにおさまるか。               |      |

| 項目        | No. | チェック項目                        | チェック |
|-----------|-----|-------------------------------|------|
| ボウル       | 1   | 表面にキズ・ワレ・変色はないか。              |      |
| 照明        | 1   | 照明は点灯するか。                     |      |
|           | 2   | ランプカバーはしっかり納まっているか。           |      |
| ミラーキャビネット | 1   | 鏡にグラツキはないか。                   |      |
|           | 2   | ミラーキャビネット本体のガタツキはないか。         |      |
|           | 3   | コンセントは通電するか。                  |      |
|           | 4   | 固定ねじにねじキャップおよびカバーキャップはつけてあるか。 |      |
|           | 5   | 鏡扉はスムーズに開閉するか。                |      |
|           | 6   | 鏡扉のキャッチはきいているか。               |      |
|           | 7   | 鏡扉はスキ間・段差なく取り付けられているか。        |      |
|           | 8   | 鏡の像にゆがみはないか。                  |      |
| 手入れ       | 1   | ボウルの清掃は良いか。                   |      |
|           | 2   | 扉の表裏の汚れはないか。                  |      |
|           | 3   | 鏡の清掃は良いか。                     |      |
|           | 4   | キャビネット・扉の汚れはないか。              |      |
| その他       | 1   | 取扱説明書（保証書）はあるか。               |      |
|           | 2   | コーキングはしてあるか。                  |      |
|           | 3   | 養生は大丈夫か。                      |      |

取付設置業者名:

連絡先:

設備工事業者名:

連絡先:

## ●取付設置についてのお問い合わせ

|                        |           |                            |               |
|------------------------|-----------|----------------------------|---------------|
| 北日本エンジニアグループ (北海道・東北)  | 〒981-3133 | 宮城県仙台市泉区泉中央3-13-5          | ☎022-772-5933 |
| 東日本設置グループ (関東・甲信越・首都圏) | 〒335-0027 | 埼玉県戸田市氷川町2丁目15番3号          | ☎048-498-8100 |
| 中日本設置グループ (北陸・東海)      | 〒491-0822 | 愛知県一宮市丹陽町伝法寺字才勝480-1       | ☎0586-75-6122 |
| 西日本設置グループ (関西・中国・四国)   | 〒577-0012 | 大阪府東大阪市長田東4丁目2-32 (大真ビル1F) | ☎06-6748-7115 |
| 九州エンジニアグループ (九州)       | 〒812-0042 | 福岡県福岡市博多区豊1-9-13           | ☎092-414-8628 |

お電話は、内容確認とサービスの向上等を目的として、保存（録音）させていただくことがあります。あらかじめご了承ください。なお、個人情報保護方針は当社のホームページにて公表してあります。

トクラス株式会社

〒432-8001 静岡県浜松市西区西山町1370



16.10-ZWTAKSTYFAA

この取付設置説明書は環境に優しい大豆インキを使用しています。

このたびは、洗面化粧台ミラーキャビネットをお取扱いいただきまして、まことにありがとうございます。お客様に満足してご使用いただくためにこの取付設置説明書をよくお読みのうえ、正しく取付けをお願いいたします。

### 取付設置手順

#### 作業のポイント

#### 1. 商品の確認

- 部材数、商品の損傷、部材のサイズ、左右の勝手方向、取付け部材等の確認
- ※ミラーキャビネット以外は「洗面化粧台取付設置説明書」や水栓金具の施工説明書を参照してください。



#### 2. 現場の確認

- 壁補強棧の位置を確認してください。
- 電源コンセントの位置確認をしてください。
- 壁・床の水平・垂直の確認および修正してください。



#### 3. トールキャビネット・ベースキャビネット・ボウル・水栓の取付け

- 別途、専用の「洗面化粧台取付設置説明書」に従ってください。
- 水栓や配水管の取付け、接続も行ってください。



#### 4. ミラーキャビネットやミラー、パニティキャビネットの据付け

- 仮止めテープなど不要物の除去をしてください。
- しっかりと固定してください。
- 照明別体は忘れずに取付けてください。
- 照明の周波数が合っているか確認してください。

##### 4-1 エポック トレー付1面鏡の取付け

##### 4-2 エポック(EJ)3面鏡の取付け

##### 4-3 アフett 3面鏡の取付け



#### 5. ウォールキャビネットの据付け

- 別途、専用の「洗面化粧台取付設置説明書」に従ってください。



#### 6. 鏡扉がきちんと閉まらない場合の調節方法



#### 7. 点検・清掃

- 末頁のチェックリストを使用して、作業の総点検をしてください。



#### 8. 養生

- 屋内の後工事で発生するホコリやヨゴレ、きず防止のため、必ず商品を保護してください。



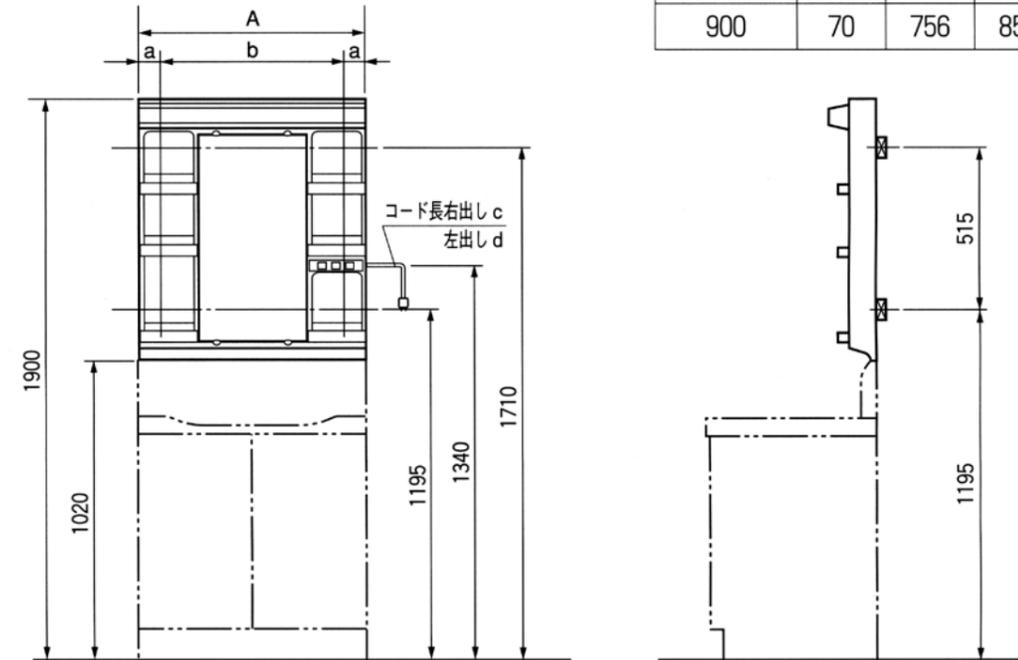
#### 9. チェックリスト

- 各部の総点検

### 寸法図

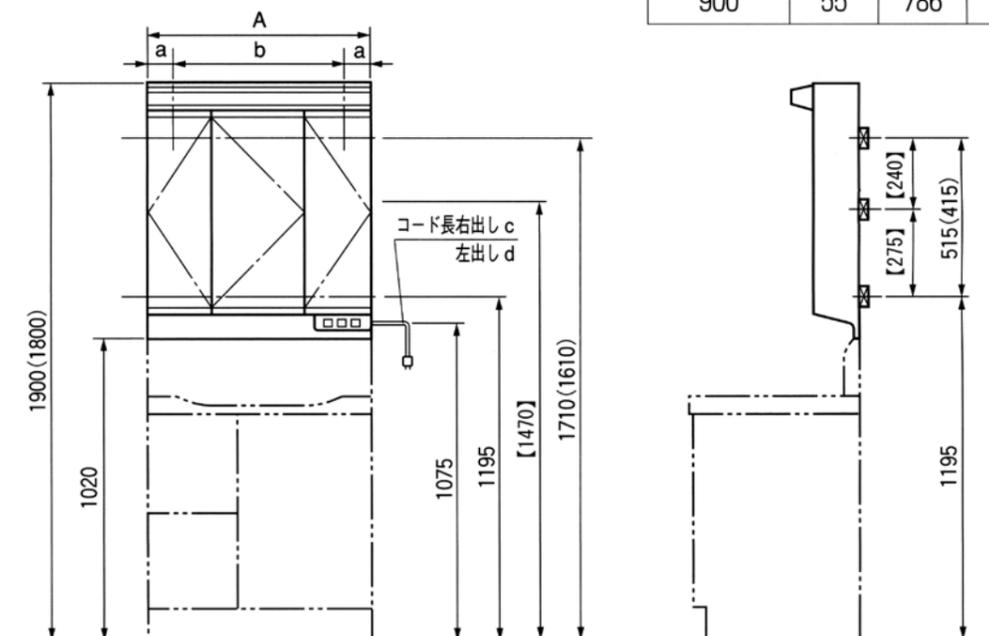
#### エポック トレー付1面鏡

| サイズ<br>A | a  | b   | c    | d    |
|----------|----|-----|------|------|
| 750      | 70 | 606 | 1000 | 1000 |
| 900      | 70 | 756 | 850  | 850  |



#### エポック (EJ) 3面鏡

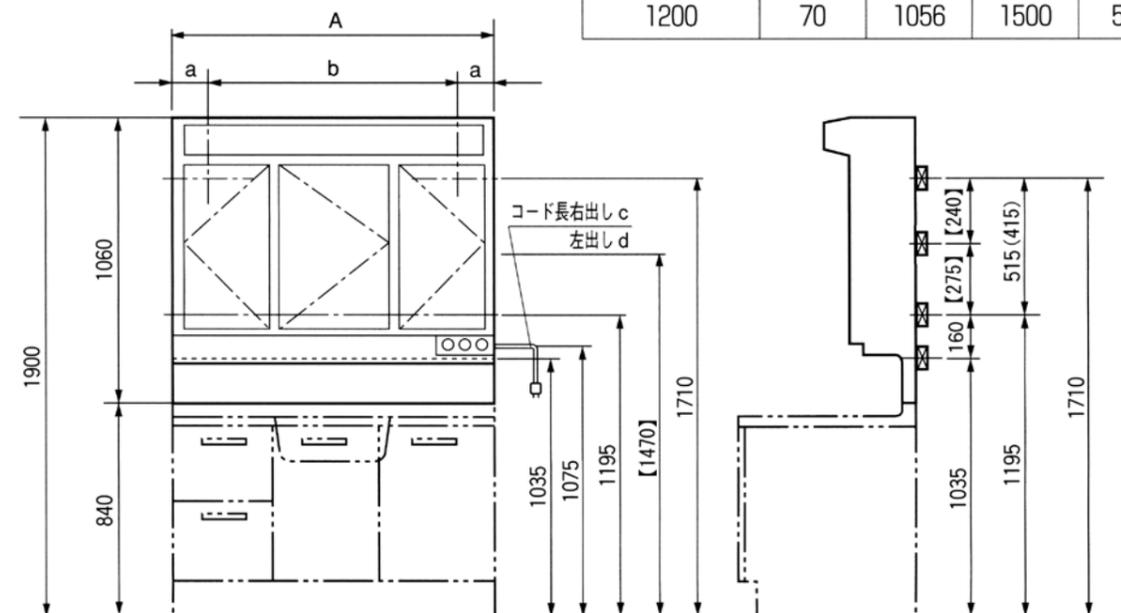
| サイズ<br>A | a  | b   | c    | d    |
|----------|----|-----|------|------|
| 750      | 55 | 636 | 1500 | 1000 |
| 900      | 55 | 786 | 1500 | 850  |



- 高さ寸法の ( ) はMAC0755 (K/L/M) B、MAC0905 (K/L/M) Bの寸法を示しています。
- 高さ寸法の【 】はMBA0905 (K/L/M) B、MBE0903KHの寸法を示しています。

# アフェット 3面鏡

| サイズ<br>A | a  | b    | c    | d    |
|----------|----|------|------|------|
| 750      | 70 | 606  | 1500 | 1000 |
| 900      | 70 | 756  | 1500 | 850  |
| 1200     | 70 | 1056 | 1500 | 550  |



- 高さ寸法の( )はMA(G/H)0755(K/M)B、MA(G/H)0905(K/M)Bの寸法を示しています。
- 高さ寸法の【 】はMB(B/D/F)0905(K/M)Bの寸法を示しています。

## 安全のために必ずお守りください。

### 警告表示と注意表示について

この取付設置説明書記載の警告事項 **警告**、**注意** の区別について



**警告** 取付設置を誤った場合、人が死亡、または重傷を負う可能性がある危険な状態が想定される内容を示します。



**注意** 取付設置を誤った場合、人が障害を負う可能性、または物的損害のみの発生が想定される内容を示します。

その他お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区別し説明しています。



このような図記号は、製品の取扱いに於て、その行為を禁止する図記号です。



このような図記号は、製品の取扱いに於て、指示に基づく行為を強制する図記号です。

※いずれの場合も重要な内容を記載していますので、必ずお守りください。

| 図記号 | <b>警告</b>   |
|-----|---|
|     | <p><b>ミラーキャビネットの取付けは、建築壁の構造・壁補強棧位置を確かめて「取付設置説明書」通りに正しく行う。</b></p> <p>補強棧位置は取付設置図で確認してください。取付ねじを空回りさせることなく、ガタつきなく確実に止めてください。取付けを誤ると、使用中に取付ねじがゆるみ、ミラーキャビネットが転倒してけがをすることがあります。</p> |

| 図記号 | <b>警告</b>  |
|-----|--|
|     | <p><b>浴室など湿気の多い場所へ設置しない。</b><br/>漏電により感電する原因となります。</p>                     |
|     | <p><b>電気配線工事は、関連する法令にしたがって、必ず「有資格者・業者」が行う。</b><br/>火災や感電および漏水の原因となります。</p> |
|     | <p><b>交流 100V を使用する。</b><br/>交流 100V 以外を使用すると過電流による火災の原因となります。</p>         |
|     | <p><b>電源コードを傷つけない。</b><br/>電源コードを傷付けると漏電および火災の原因となります。</p>                 |

| 図記号 | <b>注意</b>  |
|-----|--|
|     | <p><b>据付け後の仕上げ工事に使用する溶剤、接着剤、洗剤、その他薬品類は、容器などに記載してある“使用上の注意”表示に従って正しく使用する。</b><br/>誤った使い方をすると、人体に悪い影響が出たり、使用部材の損傷や劣化の原因になります。</p>                              |
|     | <p><b>壁補強棧は「松」「ひのき」などの材で虫食い、くされ、ぬけ節のないもので大きさは巾 90mm、厚さ 30mm 以上を使用する。</b><br/>取付ねじがしっかりと締まらずミラーキャビネットが転倒し、けがをすることがあります。合板使用の場合は、必ず 12mm 以上の厚さの物を使用してください。</p> |

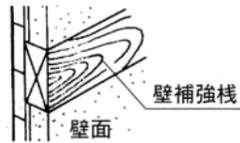
## 1. 商品の確認

### 付属部品一覧表

|                  | エポックトレイ付き1面鏡 | エポック(EJ)3面鏡 |      | アフェット3面鏡 |           |
|------------------|--------------|-------------|------|----------|-----------|
|                  |              | 750巾        | 900巾 | 750巾     | 900,1200巾 |
| ミラーキャビネット取付設置説明書 |              | 1           | 1    | 1        | 1         |
| 皿タッピンねじ Ø4×45    |              | 4           | 4    | 6【7】     | 4 6【7】    |
| バインドタッピンねじ Ø4×45 |              |             |      |          | 4 4       |
| ワッシャー            |              | 4           | 4    | 6【7】     | 4 6【7】    |
| キャップ(白)          |              | 4           | 4    | 6【7】     | 4 6【7】    |
| 歯ブラシ立て           |              | 1           | 1    | 1        | 1 1       |

## 2. 現場の確認

—取付設置の前に確認ください—



- (1) 壁面の必要な位置に壁補強棧が取付けてあるかどうか取付設置図により確認してください。
- (2) 電気コンセントが取付けてあるかどうか確認してください。

## 3. トールキャビネット・ベースキャビネット・ボウル・水栓の据付け

別途、専用の「洗面化粧台取付設置説明書」に従ってください。

## 4. ミラーキャビネットの据付け

| 図記号 | 注意  |
|-----|---|
|     | <b>電源コードは束にしない。</b><br>電源コードが高温になり火災の原因になるおそれがあります。               |
|     | <b>電源コードをミラーキャビネットの端面にはさみ込まない。</b><br>コードが傷つきショートして火災を起こす場合があります。 |

### 4-1 エポック トレー付 1面鏡の取付け

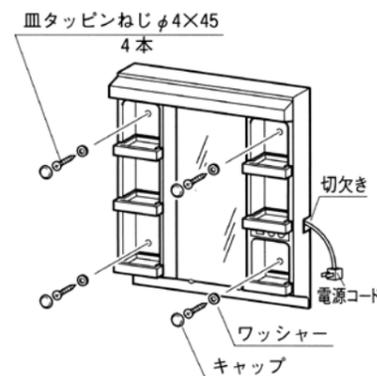
#### 1. 1面鏡の取付け

- ①ミラーキャビネットをカウンターバックガードに乗せ、コンセント側から電源コードを出し、指定の位置に固定ねじで締め付けます。

#### 注意

ミラーキャビネット下面のパッキンはカウンターのバックガードとの間でしっかり押さえられる様にしてください。不十分ですと水が壁面に入り、家屋をいためます。

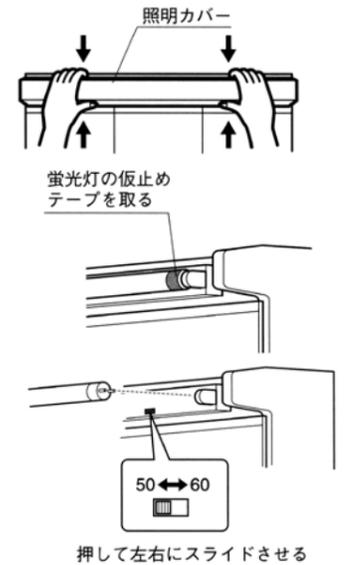
- ②ねじの頭部にキャップをかぶせます。
- ③コンセントに電源プラグを差し込み、スイッチの“ON”“OFF”を行い、確実に作動するか確かめてください。



## 2. 蛍光灯の周波数切替

工場出荷時は 50Hz に合わせてあります。  
60Hz 地域は周波数の切替を必ず行ってください。

- ①照明カバーを取外します。  
カバーの上下を両手の指で挟みながら引くと外れます。
- ②蛍光管の仮止めテープを取りのぞき、蛍光管を外します。
- ③周波数切替スイッチを押しながら切替えます。
- ④照明カバーをセットします。  
取り外した時の要領でカバーを両手の指で挟みながらはめ込みます。
- ⑤コンセントに電源プラグを差し込み、スイッチの“ON”“OFF”を行ない、確実に作動することを確認してください。



### 4-2 エポック(EJ) 3面鏡の取付け

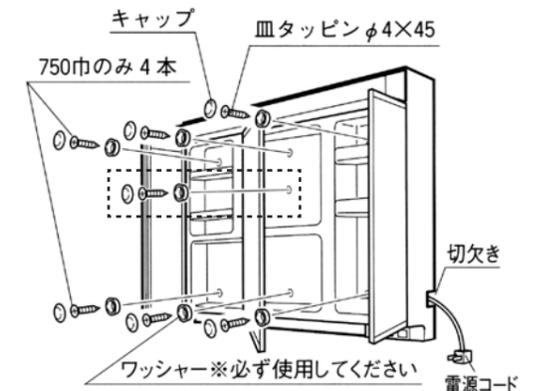
#### 1. 3面鏡の取付け

- ①電源コードを壁のコンセント方向に3面鏡の切欠部を利用し、取り外します。
- ②設置位置に仮置きし、ミラーキャビネットの裏板のねじ固定位置にφ4.5mm 貫通穴をあけます。  
(背板がない場合は穴あけの必要ありません。)
- ③指定の穴を利用し、壁にねじ固定します。

#### 作業のポイント

パッキンがつぶれる様上から鏡を押しながら固定してください。不十分ですと、水が壁面に入ります。

- ④ねじの頭部にキャップをかぶせます。



#### 2. 蛍光灯の周波数切替 (M(BA/AC)0755(L/M)B, M(BA/AC)0905(L/M)B以外)

- 4-1 エポック トレー付 1面鏡の取付け
2. 蛍光灯の周波数切替 と同様の手順で行ってください。

内は  
MBA0905(K/M)B  
MBE0903KH のみです。

### 4-3 アフェット 3面鏡の取付け

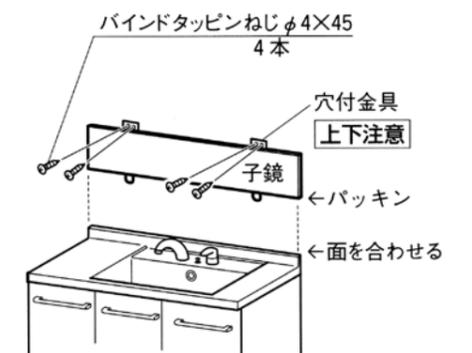
#### 1. 子鏡の取付け

- ①カウンターバックガードの後に金具を挟み込みます。  
※カウンターの巾と位置を合わせ、パッキン面を下にしてください。

#### 作業のポイント

パッキンがつぶれる様上から鏡を押しながら固定してください。不十分ですと、水が壁面に入ります。

- ②鏡の上面にある固定金具の穴を利用し、壁にねじ固定します。



## 2. 3面鏡の取付け

- ①電源コードを壁のコンセント方向に3面鏡の切欠部を利用し、取り出します。
- ②子鏡を固定した穴付金具を隠すようにして3面鏡を子鏡の上に乗せます。
- ③鏡を開け、指定の穴を利用し、壁にねじ固定します。

### 作業のポイント

パッキンがつぶれる様上から鏡を押しながら固定してください。不十分ですと、水が壁面に入ります。

- ④ねじの頭部にキャップをかぶせます。

## 3. 蛍光灯の周波数切替

1200巾はインバーター方式のため、周波数切替が不要ですが、750巾・900巾は50Hzに設定されています。切替を行ってください。

### 4-1 エポック トレー付1面鏡の取付け

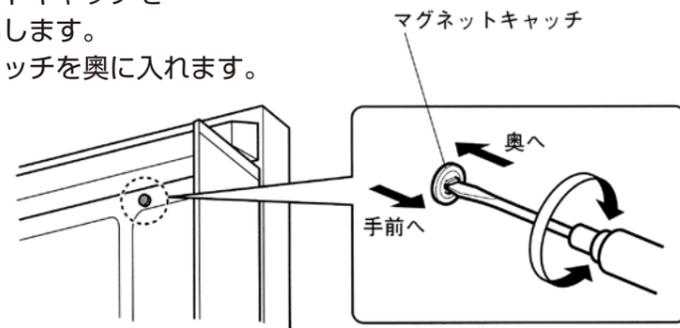
2. 蛍光灯の周波数切替 と同様の手順で行ってください。

## 5. ウォールキャビネットの取付け

別途、専用の「洗面化粧台取付設置説明書」に従ってください。

## 6. 鏡扉がきちんと閉まらない場合の調整方法

- 扉がきちんと閉まらない場合—マグネットキャッチを手前に出します。
- 扉が出すぎている場合—マグネットキャッチを奥に入れます。



## 7. 点検・清掃

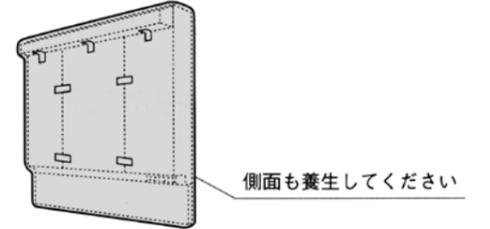
| 図記号 | 注意  |
|-----|---|
|     | <p>●取付設置完了後は鏡扉の傾きやガタつき、丁番のゆるみがないことを必ず確認してください。</p> <p>鏡扉の取付けが不完全ですと、使用中に鏡扉が落下してけがをするおそれがあります。</p> |

- 表面のほこり、汚れを拭き取りながら傷など破損の有無を点検してください。
- 梱包材、木くすなど取付設置時にでた不用物を片付けてください。
- 「取扱説明書」をベースキャビネット底板上に必ず入れておいてください。
- お客様に引き渡す前に、必ず **9. チェックリスト** に従って総点検をしてください。
- この「取付設置説明書」は「取扱説明書」・「保証書」といっしょにお客様にお渡しください。



## 8. 養生

- 鏡など破損するおそれのある部分は、ビニールなどで見えないように養生してください。角には段ボールを当ててください。
- 養生に使うテープは、粘着力の弱い（セロハンテープなど）のものを使用してください。側面も養生してください。



## 9. チェックリスト

| チェック欄                    | チェック項目                      |
|--------------------------|-----------------------------|
| <input type="checkbox"/> | ●商品の外観に傷などの異常がありませんか。       |
| <input type="checkbox"/> | ●ミラーキャビネット本体はしっかり固定されていますか。 |
| <input type="checkbox"/> | ●鏡にぐらつきはありませんか。             |
| <input type="checkbox"/> | ●鏡扉の開閉はスムーズですか。             |
| <input type="checkbox"/> | ●鏡扉はすき間・段差なく取付けられていますか。     |
| <input type="checkbox"/> | ●照明は点灯しますか。                 |
| <input type="checkbox"/> | ●鏡の像にゆがみはありませんか。            |
| <input type="checkbox"/> | ●固定ねじにねじキャップはつけてありますか。      |
| <input type="checkbox"/> | ●扉のキャッチはきいていますか。            |

### ●取付設置についてのお問い合わせ

|                        |   |                |
|------------------------|---|----------------|
| 北日本エンジニアグループ (北海道・東北)  | 〒 981-3133 宮城県仙台市泉区泉中央 3-13-5             | ☎ 022-772-5933 |
| 東日本設置グループ (関東・甲信越・首都圏) | 〒 335-0027 埼玉県戸田市氷川町 2 丁目 15 番 3 号        | ☎ 048-498-8100 |
| 中日本設置グループ (北陸・東海)      | 〒 491-0822 愛知県一宮市丹陽町伝法寺字才勝 480-1          | ☎ 0586-75-6122 |
| 西日本設置グループ (関西・中国・四国)   | 〒 577-0012 大阪府東大阪市長田東 4 丁目 2-32 (大真ビル 1F) | ☎ 06-6748-7115 |
| 九州エンジニアグループ (九州)       | 〒 812-0042 福岡県福岡市博多区豊 1 丁目 9-13           | ☎ 092-414-8628 |

お電話は、内容確認とサービスの向上等を目的として、保存(録音)させていただくことがあります。あらかじめご了承ください。なお、個人情報保護方針は当社のホームページにて公表してあります。

**トクラス株式会社**  
〒 432-8001 静岡県浜松市西区西山町 1370